

大心八車

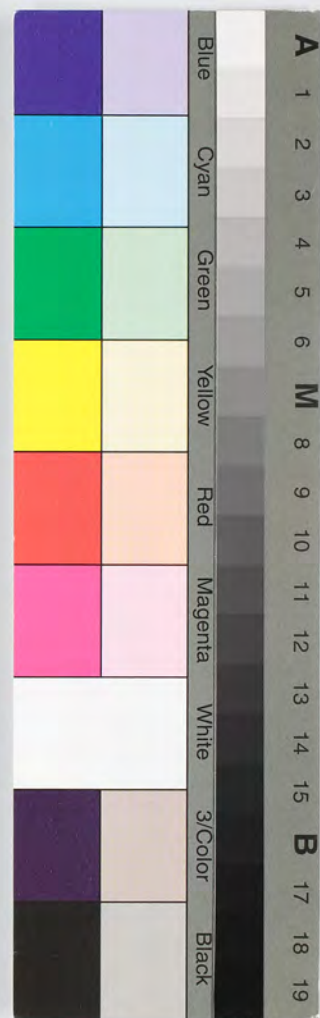
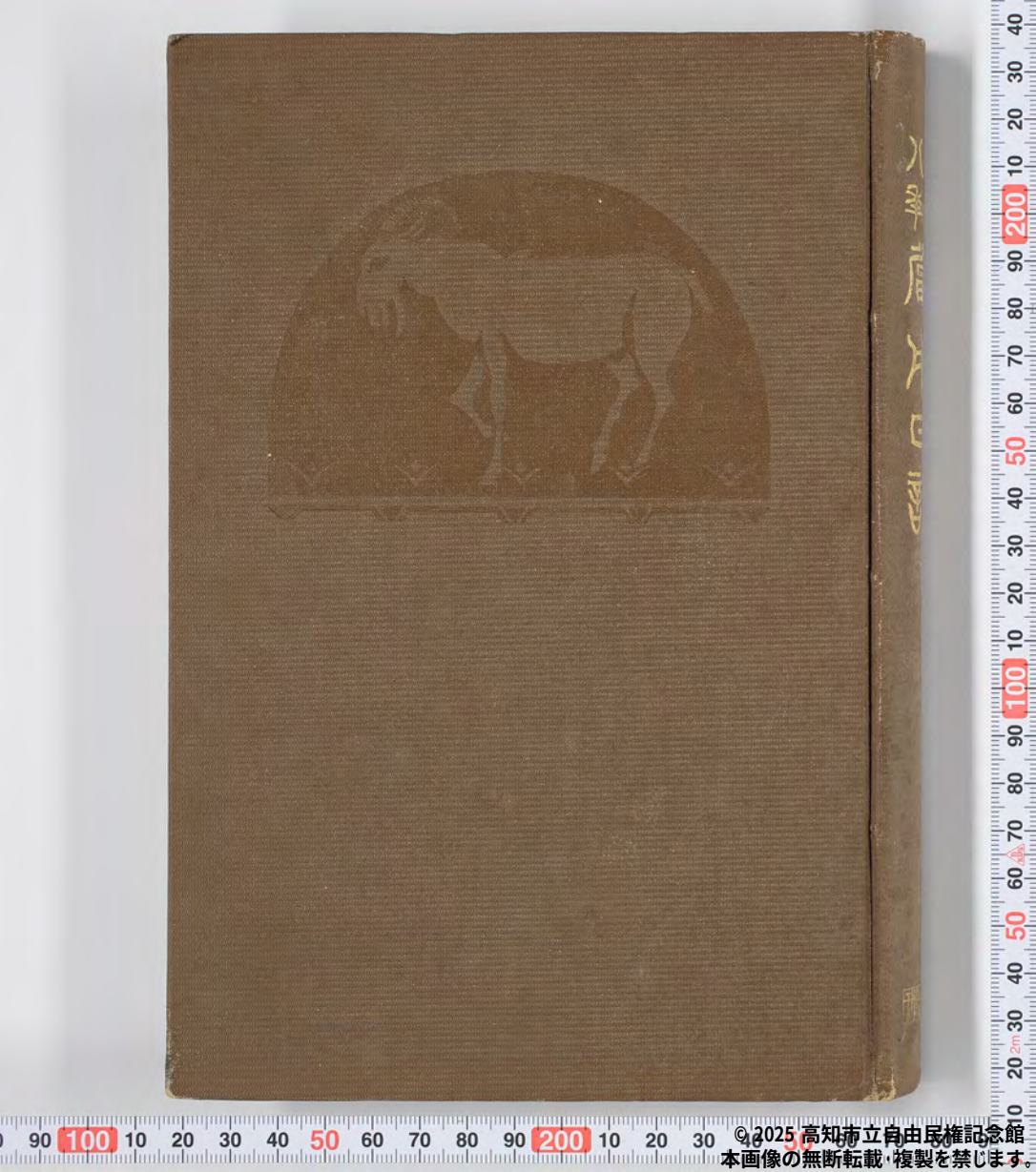
當用日記

大心八車

當用日記

博文館發行





以下日記頁のみ撮影
(1月1日～12月31日)

龍天
三
暖寒

竹目外也芳子

年頭春、角田吉二外三名、須佐天降、村爲烟

御古潔

夜分春、又正夜、作動見物、行

勅額朝晴聖

中夜、又降、いさふき晴、まねのふりたち

よりと五

公新洲口張

白金の漢子、欄、てゐる朝日影、映、をを

在野る

龍天
三
暖寒

午、一時、秋、少、ち、春、近、辰、金、子、田、を、ヤ、成、辛

本、陽、夏、送、り、夫、より、三、川、一、世、人、の、主、行、年、頭、ノ

辰、川、を、五、五、并、七、七、取、河、地、知、い、行、致、生、え、知、アリ

三、并、行、致、飯、田、庄、を、成、年、始、見、ユ

夜、中、飯、未、茶、水、成、銀、一、部、并、江、ノ、切、田、三、十

大、冊、う、水、ム

晴天

暖寒

十廿社社長、年頭祝詞を述べ、并せて部下ノ
祝詞を述べ、午後退去
主奈芽友未泊

晴天

晴天

此日春、あう吉、祥幸
更前田遊三、即ち、遊
ハシ、病、父、見、年、金、丸、取、同
う、遊、ハシ、父、遊、下、
旧、交、う、思、ハ、リ

午後三時半より、春、火、合、点、件、通、り、并、西、准、ノ
遊、見、屋、う、ヒ、ヤ、カ、ン、祥、幸、天、金、ハ、主、ア、リ、夕、飯、ヲ、ト
ル、面、中、主、金、任、成、年、訪、キ、息、芽、友、ト、共、ト、今、夕
祥、幸、正、夜、停、車、場、見、込、ル
今朝二時、新、派、ハ、優、裕、井、須、磨、子、情、人、島、村
抱、月、跡、う、追、フ、テ、藝、術、俱、楽、部、ノ、道、具、部、全
ク、没、失、ス、彼、レ、藝、術、上、ニ、於、テ、尚、未、未、ヲ、修、シ、
セ、ラ、レ、タ、ル、モ、今、ア、再、々、彼、レ、ノ、サ、ロ、メ、ヲ、見、ル、能、ハ、ス
又、リ、ナ、リ、カ、ワ、イ、ヤ、ノ、歌、ヲ、聞、ク、能、ハ、ス、彼、レ、ハ、新
派、キ、ナ、リ、キ、ナ、リ、テ、彼、レ、死、ハ、モ、旧、想、ヲ、懷、ヒ、タ、リ
降、リ、テ、役、ヤ、ヨ
お井須磨子
門、指、リ、ハ、ス、十、七、年、の、齡、を、で、す、テ、一、逢、ハ、ス
を、ろ、の、中、こ、ろ

十時 羊子社 芳村并社共之社	午後四時 田岡芳村并社共之社 西比利亞企業共之社 開し不日外幣大札兩大臣ヨリ經一談、了んじやうノ 報告アリ其趣ニテ社長、報告ス 芳村夫人於午時待ノ宴ニ弄久子后(舞)ニ リ出テ	五時退去	夜分散米落田ニテ大雅堂用硯(糸泥瀬亭 硯ニテ同)上方泰山書(ナ同)ヲ贈フ大鳥也 楓(至介)ノ書簡ヲ添物トモ贈ル 今朝電燈取付、付、女浴田雅ハ林敷太郎、 書面ニ因面致入五時半
----------------------	---	------	--

十時 羊子社 社長共之社	午後四時 田岡芳村并社共之社 西比利亞企業共之社 開し不日外幣大札兩大臣ヨリ經一談、了んじやうノ 報告アリ其趣ニテ社長、報告ス 芳村夫人於午時待ノ宴ニ弄久子后(舞)ニ リ出テ	五時退去	夜分散米落田ニテ大雅堂用硯(糸泥瀬亭 硯ニテ同)上方泰山書(ナ同)ヲ贈フ大鳥也 楓(至介)ノ書簡ヲ添物トモ贈ル 今朝電燈取付、付、女浴田雅ハ林敷太郎、 書面ニ因面致入五時半
--------------------	---	------	--

雨天
暖寒

十日廿社 而社長社
召主テ、御程、手、モナレ、四時、返、出、直、表
本ヲ伴ッテ、自分主權、田牛屋、新年、宴、会
、招、待、ス、者、釘、葉、会、社、ノ、主、役、海、長
智、成、会、社、ノ、主、役、監、督、古、久、六、井、三、郎、銀
道、主、役、在、座、者、合、テ、二、十、四、名、内、幸、田、植、松
日、下、部、三、氏、外、松、ノ、子、三、氏、三、味、太、鼓、ノ
ハ、ヤ、シ、ラ、タ、ノ、喜、藏、シ、テ、十、時、終、了
土、佐、田、岡、村、ヨリ、定、地、指、図、ノ、件、一、存、在、毫、次、地、坪
百、三、十、六、坪、用、シ、手、找、来、ル
土、佐、田、金、次、隆、年、少、将、中、島、正、三、于、次、候、病、死
、并、遺、出、指、図、并、不、海、主、ス、ル

雨天
暖寒

十日廿社
直、会、社、会、計、全、般、ノ、件、ハ、限、定、会、ハ、限、定、会、
ハ、才、二、月、離、(二、月、)ト、決、ス
此、坪、本、ノ、係、ハ、件、ハ、片、只、男、爵、一、而、合、セ、ト
、能、可、事、務、知、一、聖、治、ト、テ、都、合、テ、合、ス、也
、リ、男、爵、不、在、座、を、後、十、三、日、午、前、十、一、時、半
、終、了、テ、而、後、ス、カ、キ、中、島、正、三、
武、田、矢、雄、成、会、社、ノ、日、二、時、分、代、脇、湯、無、
テ、次、七、時、分、代、ハ、主、ス、ル、地、田、工、友、二、氏、在、リ
、本、所、男、山、成、成、ト、再、キ、リ、合、人、群、ノ、主、キ、ヲ、治
、一、分、六、時、分、代、を、寺、以、テ、又、初、島、美、子、訪、問、
、并、菜、鶏、ノ、定、地、是、會、ノ、力、キ、自、合、テ、再、建、シ、テ
、以、終、ル
土、佐、田、岡、村、一、區、春、ヲ、記、ス

此、日、西、風、寺、候、意、二、行、手、都、テ、土、佐、(手、和、会、代、内、也、)陣、人、ノ、而、ッ

大雲後雨
暖雲

朝九時半起床大工池田来ル
取手正任氏夫婦陳京川城、後、見工
十時三時四十分力奉々金道大坂ノ宅地
（案鴨仲所岸杜百六十坪代金五万三千圓ト
三万モ）又介々外々夫ヨリ三川ノ向フ日比
吾公園内此ニテ拜々、介レ三竹前、景川着
母人、五十分園ノ振込、証リ、戻シ、南、後、四時、端
途、ハ、代々金中注司、ニ、散、又、五時、四十分、端
宅
此朝外務大臣内田ヨリ十八日晚、急、ノ、托
待、来、ル
右十時頃、市苦小學校、大、大、建、築、業、ノ、事、ト、テ、大
ノ、十、鐘、ニ、ヒ、リ、モ、幸、ニ、八、十、キ、為、十、時、近、鐘、ト、セ、リ
巨、萬、一、町、後、ノ、事、ト、テ、一、時、ハ、名、入、冬、シ、タ、リ

大雲後雨
暖雲

十時半、本社、而、社長、出、勤
十時、米、便、男、舞、ヲ、免、所、ノ、事、留、知、ニ、訪、向、シ、北
樺太、炭、田、内、シ、ス、タ、ヘ、一、グ、レ、ト、共、同、住、居、ニ、テ、并
ス、ル、如、テ、リ、男、舞、ヲ、モ、ミ、方、ノ、主、豪、者、ヲ、信、シ、又、成、ス
ル、如、ヤ、リ
午後二時、臨時、露、比、利、亞、駐、府、政、府、事、務、分、局、ニ
目、受、田、男、ヲ、訪、ヒ、十八日、外、務、大臣、招、待、会、招、力
ノ、為、欠、席、ス、ル、ハ、折、リ、遣、キ、男、舞、ヲ、リ、大、臣
ニ、其、意、ヲ、付、ヘ、ス、一、事、ヲ、知、レ、タ、リ
坪、田、ヲ、リ、代、介、介、受、小、牙、太、郎、ニ、而、会、合、ス、或、ウ、電、信
ニ、テ、五、有、緒、々、成、一、代、介、又、（其、而、名、事、主、社、等、談、ハ、件）
三、好、十、生、舞、台、上、ス、

無天

晴

暖寒

九

十時去社

社長出初

五時歸宅七時ノ汽車ニテ神ノ向ニ去
十八日外務大臣招待、おし新リ合ヲセス

汽車中便所ヲカキ自後ノ者被匿 弁台ニ立方た、
を促リ
飯食を今宵向カキリと思ハヤリのかヤキ
たもと、泣玉散

無天

晴

暖寒

九

大津ヲ過

入リテ神ノ向ニ去

明日、近期ニタリトノ事ナリ不手ヲ被レテ西店ニ入ル主停

月二十日 戊戌
日 亥 七

晴
 天
 氣
 大
 雨
 行
 支
 店
 三
 軒
 堂
 松
 戸
 渡
 仙
 村
 諸
 氏
 偶
 々
 会
 合
 入
 三
 軒
 堂
 也
 武
 堂
 部
 依
 乃
 柳
 太
 郎
 等
 共
 一
 伏
 見
 工
 場
 卦
 ク
 ト
 車
 中
 人
 等
 会
 行
 セ
 リ
 シ
 ヲ
 ハ
 七
 車
 未
 上
 リ
 カ
 ヌ
 桑
 車
 一
 時
 刻
 一
 屋
 屋
 合
 七
 銀
 行
 支
 店
 長
 か
 及
 武
 男
 子
 ト
 共
 一
 茶
 三
 商
 合
 入
 入
 行
 不
 在
 者
 多
 シ
 而
 合
 ス
 ヲ
 リ
 報
 知
 知
 見
 四
 十
 分
 會
 知
 知
 明
 支
 店
 松
 子
 一
 會
 合
 ス
 五
 時
 三
 十
 分
 五
 車
 七
 時
 取
 宿
 山
 宿
 ル
 米
 釜
 煮
 シ
 九
 時
 取
 宿
 花
 鳥
 嶺
 山
 朝
 日
 在
 二
 幅
 十
 間
 七
 十
 一
 時
 取
 宿
 武
 堂
 部
 依
 乃
 柳
 太
 郎
 等
 共
 一
 伏
 見
 工
 場
 卦
 ク
 ト
 車
 中
 人
 等
 会
 行
 セ
 リ
 シ
 ヲ
 ハ
 七
 車
 未
 上
 リ
 カ
 ヌ
 桑
 車
 一
 時
 刻
 一
 屋
 屋
 合
 七
 銀
 行
 支
 店
 長
 か
 及
 武
 男
 子
 ト
 共
 一
 茶
 三
 商
 合
 入
 入
 行
 不
 在
 者
 多
 シ
 而
 合
 ス
 ヲ
 リ
 報
 知
 知
 見
 四
 十
 分
 會
 知
 知
 明
 支
 店
 松
 子
 一
 會
 合
 ス
 五
 時
 三
 十
 分
 五
 車
 七
 時
 取
 宿
 山
 宿
 ル
 米
 釜
 煮
 シ
 九
 時
 取
 宿
 花
 鳥
 嶺
 山
 朝
 日
 在
 二
 幅
 十
 間
 七
 十
 一
 時
 取
 宿
 武
 堂
 部
 依
 乃
 柳
 太
 郎
 等
 共
 一
 伏
 見
 工
 場
 卦
 ク
 ト
 車
 中
 人
 等
 会
 行
 セ
 リ
 シ
 ヲ
 ハ
 七
 車
 未
 上
 リ
 カ
 ヌ
 桑
 車
 一
 時
 刻
 一
 屋
 屋
 合
 七
 銀
 行
 支
 店
 長
 か
 及
 武
 男
 子
 ト
 共
 一
 茶
 三
 商
 合
 入
 入
 行
 不
 在
 者
 多
 シ
 而
 合
 ス
 ヲ
 リ
 報
 知
 知
 見
 四
 十
 分
 會
 知
 知
 明
 支
 店
 松
 子
 一
 會
 合
 ス
 五
 時
 三
 十
 分
 五
 車
 七
 時
 取
 宿
 山
 宿
 ル
 米
 釜
 煮
 シ
 九
 時
 取
 宿
 花
 鳥
 嶺
 山
 朝
 日
 在
 二
 幅
 十
 間
 七
 十
 一
 時
 取
 宿
 武
 堂
 部
 依
 乃
 柳
 太
 郎
 等
 共
 一
 伏
 見
 工
 場
 卦
 ク
 ト
 車
 中
 人
 等
 会
 行
 セ
 リ
 シ
 ヲ
 ハ
 七
 車
 未
 上
 リ
 カ
 ヌ
 桑
 車
 一
 時
 刻
 一
 屋
 屋
 合
 七
 銀
 行
 支
 店
 長
 か
 及
 武
 男
 子
 ト
 共
 一
 茶
 三
 商
 合
 入
 入
 行
 不
 在
 者
 多
 シ
 而
 合
 ス
 ヲ
 リ
 報
 知
 知
 見
 四
 十
 分
 會
 知
 知
 明
 支
 店
 松
 子
 一
 會
 合
 ス
 五
 時
 三
 十
 分
 五
 車
 七
 時
 取
 宿
 山
 宿
 ル
 米
 釜
 煮
 シ
 九
 時
 取
 宿
 花
 鳥
 嶺
 山
 朝
 日
 在
 二
 幅
 十
 間
 七
 十
 一
 時
 取
 宿
 武
 堂
 部
 依
 乃
 柳
 太
 郎
 等
 共
 一
 伏
 見
 工
 場
 卦
 ク
 ト
 車
 中
 人
 等
 会
 行
 セ
 リ
 シ
 ヲ
 ハ
 七
 車
 未
 上
 リ
 カ
 ヌ
 桑
 車
 一
 時
 刻
 一
 屋
 屋
 合
 七
 銀
 行
 支
 店
 長
 か
 及
 武
 男
 子
 ト
 共
 一
 茶
 三
 商
 合
 入
 入
 行
 不
 在
 者
 多
 シ
 而
 合
 ス
 ヲ
 リ
 報
 知
 知
 見
 四
 十
 分
 會
 知
 知
 明
 支
 店
 松
 子
 一
 會
 合
 ス
 五
 時
 三
 十
 分
 五
 車
 七
 時
 取
 宿
 山
 宿
 ル
 米
 釜
 煮
 シ
 九
 時
 取
 宿
 花
 鳥
 嶺
 山
 朝
 日
 在
 二
 幅
 十
 間
 七
 十
 一
 時

(二正大) 選當氏一レカンアホ舉選領統大國俄

19

月 滿 曜木
分四十四時五後下 辰戌

氣天 星雲 暖寒
 朝三橋行三式來訪、銀行朝表夏止
 子右四時大倉山、行り余次前川上、其方
 主より日景文浪、在池政禪、代百計拾圓ヲ又
 拘じ今時花和、画帳ヲ視ル真筆、近キモノト認
 ム依頼者、其却ノ約至ル多庫キ前川ヨリ其佐
 殿ヲ礼ナシム
 大倉山ノ会合者打野、服部、神田、新川、
 武成、山下、鹿島、金、八八川西、直木、松元
 ノ三式欠席、談決ノ主ナモノハ
 一身地伯七ヶ坪長田主歸地ノ一部賣入ノ件
 一田中校ヲ佐々木氏ノ私立トナス
 川谷送信知三十三万支幣ノ件ヲキク財団目下
 一平横伯七ヶ坪四、收入物七五圓
 十時停車、

18

(三正大) 才薨帥元東伊 (二應承) 成落道水川玉

午後二時又店へ行きて命女に面会二十一日夕暮ノ際
 三木氏ハ海軍監督官ト共ニ伏見工場ノ赴キ不在主
 奈、伊東、永奈、面会ス至奈、伊東ハ新年宴会ハ
 命下ノ以テ事ナキ永奈ナト牛肉会食ヲ決シテ
 行ル
 厚著永奈未訪差付ニテ牛肉ヲ喰ヒ会後雨
 降風甚十一時降ル雨降ル
 此朝前川ハ舟及打野山人見エ前川ハ
 船前ノ面泊ヲ持参シ打野山人ハ一々下津ノ
 様妙、見ヘタリ

朝より夕よりノ雨降キ暖ナシ
 午後二時自勤事ニテ長田別荘ニ赴キ寒爪濱ニ到
 永止ニ事ヲ得ス節ノ年ニ至ル同ノ夜ニ帰途
 久保銀七等々病氣ヲ具井ノ祥福幸側ニテ目
 節事ヲカヘシ無事船中在ル方ニ至リ山
 ノ至午久々至人二個ヲ至千金ヲ贈ヒ又町ノ至皇
 店ヲヒヤカシ目見テサカシタルモノ一軒モヤシニ寒サギル
 午後七時降ル
 長田別荘至ル者君ヨリ至奈ト事ノ件ニ付電
 信リ京都ヨリ直シノ事トシ明後日長田ニ
 面談ノ事ト可合ス
 長田行ノ途次前川ノ差支リ命女ハ家内ニ在リ
 命女ハ前川百五拾圓ヲ依託ス(百四九拾圓札
 三枚)

晴
暖
寒

午前十時五分三宮祭ノ汽車ニテ京都へ向フ十二時
 羊ヶ崎下車自御車ニテ銀行及店ヲ行キ八時
 面々自御車ヲヤトヒ舞馬場ニ以暇作リ馬ノ内
 二所ノ病馬ニ出向キ不在直ニ吉田口大馬病馬ニ
 キ行リ馬ガ病馬具牛ノ病馬ニ付セ下ノ病馬共
 一リ病馬共知テ解シ伏見工場ニ参キ八時
 面合ス海軍監督官ニ必ク模様ヲ陳列リ
 四時ニ介ノ汽車ニ搭乗シ七時頃御所山ノ神
 宮ス中叙ノ余裕ナリシカモ著者亦立腹ナ
 リ村柄者来リテ潜工階下三銃ノ音カマヒ
 スハ時過キ漸ク暖冬ニナリツキナリ余後
 松原ノ村ニ文風牧場ノ牛場ヲ集ヘ四時合時
 有亭微山ニ二橋代計百廿八圓ヲ支払フ

晴
暖
寒

朝弄よりカメ目録ニ由テ贈フ代金三拾七
 圓 神谷ノ源
 午後の時羊自御車ニテ長田ニ赴キ曾根武ノ
 宅ヲ訪フ妻居即チ余カ待キ山ニ在リト聞キ
 引遣シテ今知テ妻居及主令夫人ノ会合ス
 昇土壇ニ主令夫人ノ誤得スル知アリ三時相
 合シテ綿着婦ハ池田カ馬ノ女令某ノ来
 訪スリ也同ノ人及高事及長依友梅太郎
 へ知介ノ名刺ヲ渡ヌ
 夜半、文風牧場ノ隔代三百カカ同ラ支払ヒ六
 時半、汽車ニテ綿着婦ノ車中取奉一氏ヲ歸シ
 正輔ノ會合ス銀山山下波能ノ森中何
 處ナリ銀山ノ模様ヲ詳カニナリ事ヲ得タ

魚天
皆霽
暖雲
京

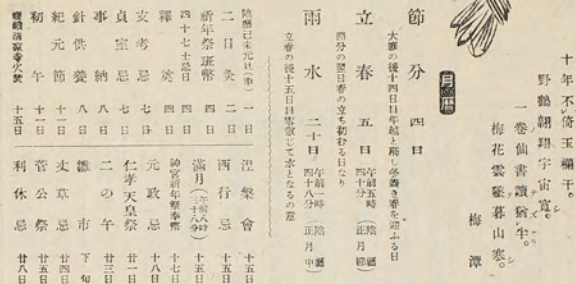
昨夜不垣に通過スルハ、初ハ細霧ノミヨリ厚キ
夕モ今暖國存津ニテ起ルテ夕ハ天々朗ニテ
爪ナク著ク暖氣ヲ感スル九時前中央傳車
場着一度帰宅、更ニ出勤ス
午後一時社長ヲ駿台向御、訪ヒ社長ノ意向ヲ聞
キ併セテ報告スルアリ、因ヒ神社
五時三十分拜シタ、未リ得テ今午至聖地精
美良軒ノ邸奉、飯田両家ノ婿嫁被テ居
寮ニ移ニ飯田格次郎三才大早キ、邸奉ホ
亦シタリ、江本之武ノ後ヲ参ルニラ官
終ル余興、桑合後(竹内健者)田村(健健)
勸進帳(伊予中元)内建(年)九時半帰宅
此日自今更ニ回リ、此利重周泰因ノ幹事
確鑿代束ル

魚天
晴天
暖雲
京

十一時出社
此利重周泰因ノ幹事羊諾、午、右社次ト訂
合セリ
世人知有鐘紡頭多金八百七拾五圓ノ母人ノ
持前ガ正ノ持込ム
橋本至三ノ氏ノ紹介ヲ以テ羊毛紡織ノ羽仁新
八氏(前外務省代ト令知)武蔵紡織ノ地知(後橋
十三方)西ノを紡織員久ノ方ノ外、必ス必ハ十七万四)五
十名賣即ノ件ノ未訪以話ヲ桑田君若太郎氏
ノ訪シ令成三リ返(事セシムルヲトス
釘書會本社期ニ草費、外、町ト狼(漢)知
リ其話(可)変々
五時半退社

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

(二三治明) 通開話電離距長の間阪大京東



© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

三

三

大 天

晴

寒 暖

十時止社直、日本工部局、理事會、
ク、日決議、タル、銅錢、製造、業、保護、建
設、カ、ル、業、領、カ、ル、如、シ

一、永、久、業、ト、シ、テ、合、同、ヲ、畫、シ、伴、護、政、策、実、行、
十、時、羊、蹄、社、第、一、其、決、議、案、ヲ、呈、出、ス

頃、座、系、方、式、ヲ、示、木、屋、田、兩、方、ノ、知、有、ス、ル、に、海、道
司、右、内、務、部、ノ、関、シ、三、時、未、訪、ス、ル、如、リ、取、扱、ス

可、キ、手、手、ヲ、カ、ヘ、ス
五、時、止、出

午後八時、会社ヨリ、速、達、便、カ、ル、村、井、針、業、会
社、ヨリ、古、田、某、ノ、カ、ル、債、務、役、ヲ、拜、會、村、井、

任、意、者、到、来、ス

大 天

晴

寒 暖

十一時止社 社長、川、係、キ、欠、勤
古、田、某、ノ、來、ル、村、井、針、業、会、社、ヨリ、書、簡、ヲ、示、
村、井、ノ、反、ス

午前中、某、所、ニ、モ、川、ノ、係、ス、ル、如、リ、銅、錢、ノ、用
ス、ル、会、社、長、ヲ、某、所、ヨリ、取、リ、之、ヲ、半、田、氏、ノ、反、

シ、テ、前、期、ノ、數、告、告、某、業、ノ、依、賴、ヲ、手、取、會、後
總、務、部、長、ニ、呈、テ、半、田、青、木、兩、氏、列、席、於、市

會、議、會、長、ノ、係、ス、ル、如、リ、
奥、村、政、雄、氏、外、有、リ、外、キ、北、澤、太、針、鎖、等

獲、得、ノ、用、レ、接、助、ヨ、ル、如、リ、其、數、告、ヲ、示、
五、時、羊、蹄、出

此、夜、所、命、賣、(荒、川、針、山、長)呈、出、荒、川、針、山
某、業、ノ、反、ス、ル、見、書、ヲ、関、係、シ、テ、深、更、及、ブ

陰 陽

陰 陽

無 天

日

日

暖 寒

十時四十五分、本社社長、久松、
牧山、コリス、梨、遠、別、産、物、ノ、利、益、長、ク、芳、町、
日、出、七、十、一、時、羊、ヨリ、針、山、狼、ノ、治、令、一、卦、キ、金、知、
ミ、中、食、一、時、羊、禱、社、
麻、生、太、吉、氏、申、込、通、祖、(若、松、宮、原、父、氏、)式、
伴、二、時、未、社、若、松、下、束、銭、ト、文、涉、ノ、件、并、
活、ウ、交、換、ス、
四、時、羊、ヨリ、毛、利、五、郎、男、長、女、鶴、殿、ノ、壽、
賀、被、下、付、テ、茶、一、箱、美、食、軒、ノ、外、キ、五、時、羊、
禱、社、北、日、午、時、ヨリ、雪、罪、々、薄、暮、積、雪、五、
寸、及、ビ、而、止、マ、ス、
小、池、原、然、不、母、堂、が、若、々、并、而、四、ハ、リ、込、ル、
春、本、由、と、お、心、か、れ、も、白、砂、い、又、も、や、ち、
わ、わ、と、き、こ、り、と、

陰 陽

陰 陽

無 天

日

日

暖 寒

今朝、十時、午、時、迄、キ、チ、チ、下、眠、里、下、頭、腦、休、養、
シ、テ、今、朝、迄、ハ、雪、シ、日、光、暖、キ、モ、北、
来、ノ、雪、ハ、積、雪、ハ、オ、リ、一、八、明、后、十、六、年、未、
ノ、大、雪、下、テ、満、目、白、雪、々、
西、成、ノ、折、岩、音、三、成、一、時、午、未、西、成、本、月、サ、
ヲ、生、イ、タル、通、知、(本、内、厚、)
大、屋、も、初、雛、を、ま、い、子、バ、の、春、
と、あ、ま、い、り、け、き、む、と、あ、け、(さ、ら、お、
「虎、山、ノ、サ、若、草、子、を、め、の、春、日、
美、山、ハ、お、人、ノ、頭、ハ、然、タ、ヲ、を、ぬ、う、し、タ、
表、て、ま、い、子、ノ、か、す、サ、や、寒、鴨、

無天

晴

暖寒

風

十時ヨリ工業倶楽部にて茶會(方御内願)
(并催、社後直、公や、おき中島、郎、清井、白
石、内保、植村、等、各々トこ見ラ文、喫スル知ア
リ)
三時スグ、グ会、社、カール、氏、本、訪、北、樺、太、井、鎖
理、業、主、復、得、し、席、カ、ナ、グ、翁、山、合、社、打、取、業、井、打
合、ス、十三、日、カ、リ、ン、氏、取、得、リ、也、ス、奥、村、鐵、田、
作、友、列、席、
五時、羊、事、本、氏、催、カ、ル、回、基、合、い、芽、新、
島、等、や、池、田、奥、村、合、合、歸、を、十二、時、近
カ、ン

大正

無天

曇

暖寒

風

無天

曇

暖寒

風

本、日、ハ、本、居、布、三十、年、の、合、日、カ、ル、座、下
ス、レ、キ、有、田、院、長、校、下、リ、バ、ト、テ、明、は、祥、雲、外
十、時、五、分、に、合、結、し、て、台、座、ア、ラ、セ、レ、ル、ニ、サ、リ、市、中、モ
相、當、ニ、催、ア、ル、リ、
思、は、せ、ハ、三十、年、前、合、カ、ル、料、本、居、十、二、年、時、ア、キ
二、重、橋、外、外、苑、一、時、列、シ、テ、座、下、青、山、殿、東、式、は、座、下
ハ、外、山、文、科、大、座、下、カ、リ、音、頭、シ、テ、布、キ、口、威、リ、ニ、思、
シ、タル、モ、五、時、ア、リ、此、日、ホ、文、部、大、臣、ハ、参、内、ノ、為、官、拜
シ、テ、テ、シ、ル、モ、座、下、カ、リ、暗、殺、マ、シ、タ、リ、任、勢、大、主、廟、
拜、ス、ル、不、敬、ア、正、セ、シ、為、メ、ナ、リ、シ、ト、ス、ヘ、シ、
下、サ、シ、生、死、リ、タ、リ、ト、ニ、思、ス、
テ、五、時、を、カ、ル、ハ、一、ト、
ハ、若、歲、の、五、月、を、清、け、是、大、内、山、ノ、奉、祀、人、の

晴

晴

朝日新聞

読者

読者

読者

読者

読者

読者

読者

読者

読者

読者

読者

読者

読者

読者

読者

読者

読者

読者

読者

読者

読者

読者

読者

読者

読者

読者

読者

読者

読者

読者

読者

読者

読者

読者

読者

読者

読者

読者

読者

十時

十時

二時前日

及、代表個人

二時頃

知、其内

花、指

坪、其

四、時

鋼、金

三、井

錢、金

錢、金

三、井

錢、金

三、井

錢、金

三、井

錢、金

三、井

錢、金

三、井

錢、金

三、井

錢、金

三、井

錢、金

三、井

錢、金

三、井

錢、金

三、井

錢、金

三、井

錢、金

三、井

錢、金

三、井

錢、金

三、井

錢、金

三、井

最天

雨

晴

晴

十時古社

不可也易

錯田武カールン武淫業屋貯資金ノカール

ナラ碎係トレ五松万回ノ貯金ナクナク金ナク

ル事ナクナクナクナクナクナクナクナクナクナク

小竹天長ナクナクナクナクナクナクナクナクナク

六時野宅

久保銀七カールン古田耕池整理カールン

古井ノ附書圖而來

原本
四丁

最天

晴

晴

晴

十時古社

午信武時ヨリ九松室校会ナクナクナクナクナク

武久カールン冬冬カールン川橋カールン

島村カールン行更知電力使用額ナクナクナクナク

理中ナクナクナクナクナクナクナクナクナクナク

時間制限ノ許ナクナクナクナクナクナクナクナク

ナクナクナクナクナクナクナクナクナクナク

第町ヨリ軍令銀銭カールンカールンカールンカールン

カールンカールンカールンカールンカールンカールン

五時羊取出

長田耕池整理結算ナクナクナクナクナクナクナク

ル分國奉師ニ送ル

龍天
晴

暖雲

朝十一時大川平佐式本所
神戶久保鑑七、対し方頼重取ノ丸合ヲ出シ
合時服部一三、紅蛸ヲ借り呉レタ
ヲ出ス
午後五時羊木枝竹田牛屋、赤勘、新勘ノ
植松宗二、木健夫、外莊ノ西宮方、山利長
ノ送別宴ヲ開リ、信市トシテ田中九、廿時田三、枝
日下部、船田ヲ招リ十時福花

龍天
晴

暖雲

龍天
晴

暖雲

十時羊木枝 沢村トモ
北澤太、派遣、陽ノ杜、後ノ片、打合セヲス
南澤太、之、辰ノ今井、枝、陽、ヨリ、十、ヨ、レ、出、頼、金
三、子、仲、ノ、片、電、報、来、ル
安久保主ハ、武ノ錫（新系政）、ノ事、ノヤ、ル、午、戌、平
ル、之、レ、島、村、研、花、外、費、ト、送、付、セ、ル
高田四花、ヨリ、行、石、見、ナ、并、ノ、因、而、入、ト、交、レ、キ
キ、井、才、人、之、レ、ヲ、船、田、今、辰、ス
五時羊木枝
八時、羊、木、枝、ヨリ、白石、直、辰、辰、死、者、ノ、面、知、リ
ナ、野、合、ヲ、ハ、セ、ル、桐、島、辰、ノ、打、合、セ、ヲ、ス、茶、井、侯、ハ、廿
一、日、午、前、十、一、時、齊、心、金、澤、一、権、之、レ、タ、リ、ト、ナ、ル
弘瀬、半、俵、馬、表、幸、猪、ノ、依、頼、ニ、リ、金、才、百、圓、ヲ
京都、今、人、言、ハ、為、替、ニ、テ、郵、送、ス

暖寒

需 變	需 設
-----	-----

[illegible]

天氣
雲後雨
寒暖

記

噉 變	噉 發
-----	-----

午前九時半 白石氏葬儀行列、為神田青年会
 役員、今井君、佐五、六百名、中野室、江部、八、故人
 へ復讐調停、い、音、明、柳、又、享、亦、能、故人
 、秋、怡、人、セリ、十、一時、羊、ヤ、社
 植田、運、名、式、上、名、一時、羊、而、合、ス
 外、省、有、永、井、善、江、江、リ、来、セ、七、日、午後二時、外、省、有
 堀、内、八、八、八、八、東、興、業、団、幹、事、会、(井、催、)通、知、ア
 リ
 三、事、合、社、リ、ス、タ、ハ、グ、お、合、い、迄、皆、お、は、込、金、ト、シ、テ、
 カ、於、万、同、貨、票、ノ、件、ハ、井、事、田、派、言、而、成、ト、決、合、
 洋、田、氏、合、主、意、ラ、ス
 碑、公
 い、士、力、大、く、さ、く、け、五、成、心、大、千、一、年、の、末、も
 鑑、と、や、ア、む

雨

十時半出社

一月分製紙会社、収支計算書、其他方帳（包井、若松及后送付）製紙知、需要炭量破、石田ヨダケ主人ヨシ三出金解、石田製紙会長、製紙知、ヤナシ、調方ヲ支取、午後三時カレンス、封鎖地帯カナダ、マ、イニシ、合セト、其川、仮、客、ナル、テ、免、モ、金、其、場、合、此、ミ、返、答、ス、可、合、置、ナリ、南、主、合、社、貸、金、ノ、件、ハ、取、消、一、致、ト、至、ラ、ス、而、テ、ヨ、要、ス、ル、ト、ナリ、クリトナリ、

雨

九時半出社

一時東京美術倶楽部、公事新至ノ後、ア、見、ル、合、セ、テ、松、次、三、日、カ、大、席、一、名、也、ナリ、

風天

晴

風

家

今朝雨と麥田候へ奉り本泊しヤボン用テシユ
又奉リ集常ス

妻不ヤ本泊南樺太炭田へサレ在泊ヨリ
相伴ヒ十時迄社直ト工替後天部ヲ赴リ川西清
生樹ヤ上系落田（遠一）女モ列席 御参々
長ヨリ西々候合社合併ノ位暫候知所下
候スレタスヲ叩リ西成候候ト返答スル事トアリ
午参ヨリテ六時ノ刻
社長明日ヨリ社ス奉トナリ名部責不ヤテ登テ
在氏ヨリ面知アリ

風天

風

風

家

ト付干本社 而社長出物

勿名直迄々生前ノ印象ヲ得スル 譽興合金ヲ取付
二時外有和東興業所ニ幹事 合々赴リ中島
正武平伯并黄島大佐ヨリ 西氏利重ノ段次及至
杯に松花江以行船賣候ノ關スル談話ヲ
午五時半迄止ス
午前三時ノ國環慶ヤナラ書興業合社様
件、付奉渡下リ
夜分ニ移ヤリ 鈴本ヤ（馬込）明日午後一時ニ
リ任交支店、会合ヲ沙上公館至知リ 差込
スレタス

		晴	氣天
		霞	曜実
		空	
九時後何々旅行社長、面会約二時後浩う交喚 し十一時出社	第九主人、報紙知二月分、収支ノ計算書取テ 呈サス田案三言口論、件ノ付合ハ注意怠セシム 知アリキ歟食後兩人ヲ招キ訓戒和解セシム 住友大生蔵式本所訪住友ニ共遊又方ノ定ヨ履ス 五時四半方ヲ招キ自分煩忙ノ理由ヲ以テ午後 業務ヲ八大伴四等方ノ如ク決リ執行ヌヒキ日 申渡レウナデリ	九時半退セル	同車歸り大坂銀行芝居見座エテ廿八月金 余ノ勤ま口、概はより特別名庄へ入ル

天敵
晴
陸
暖寒

午打三府改後依天育本ル
 合村橋ノ夫人今腰ヲ伴と本ル
 日比若勇造女王御 来ル
 大所一々田川全之成 南根 会社ノ件ノ件
 本所
 二共一三氏 本所
 然川ノ本所 午飯 其ニシ 国漢十廿次
 節ル
 後何々本所 明朝九時 本所 又リモ
 電話本所 其知也 冬ス

己未年閏二月
六日

天氣
晴
寒暖

山下之宅三石招得
午休在何年四十年

陰 莖	陰 囊
-----	-----

十一時止
 若松榮徳、田中茂樹、山下千次、谷戸百四
 う、惣合計、納ム
 昨夜、模様ヲ社長、報告ス
 軍、青木ト共、新、鐵、合、社、起、業、費、増、加、理、也
 う、三、宅、川、部、中、サ、レ、ス
 午後、羊、山、下、参、り、我、相、々、に、田、中、参、り、其、中、
 海、豚、也、走、り、参、り、合、ス、ル、が、友、友、我、和、田、中、氏、毛
 利、中、小、川、平、方、江、友、代、談、士、候、村、中、太、郎、郎、
 、佐、美、様、本、日、并、ニ、高、山、長、幸、氏、等、訪、士、リ
 九時、羊、山、迄

(三一長慶)の生樹藤江中 (八三治明)戦會大天奉

70

天氣
晴
寒暖

正午王書保主印
午後六時に石多工元さる

十時
四合
出社

二國商砂智城知長古平平万

日本牛込公社ノ有馬唯一氏川西清兵衛氏ヨリ
合ニ工部省候本部ニテ向合セ、乃チ前手後ニ及

正午工替者候者申午位下ノ内スル者ハ合ニ列
席陸軍大臣ノ諮問ノ對スル者ハ合ニ決定ス

五時至川赴牛丹、面合不、輝、全、白石成、二十日之末

、不平し、創ス會スルノモ多シ故、人ノ今、哀、依ルニ、三苦ヲ

上、叙高糾、野村亦太郎、五代亦心、鈴木充美

一、外名、多し故人、物語、及び九時

辭して帰心
而方レテ
降ル

立二り、代樟太炭取坂而一休入件より本方

(二寶大) つ 頌に下天を衡量度てめ始

71

天皇
量

儀案

夜中兩降り今暖而止之暖知
奉養ハ今夕去立京都高山村古ノ珍臺ヲ
とてカガメ衣袋ヲ調へ居テ一矢ヲ神入行
テ井上夏子方ノ寄願高山村ヲ都令ヲ知合ヤ
支珍ノ日ヲ末スハセナリ
国幸ノ儀ハ送金具取ノ年戌ヲ出ス
弄美七時ノ夜行ミテ神ノ白也立正夜停事現
ミ更送ル
夜命皇山宮月子見上箱振別知、ナテノ竹盛
ヲ治シ枉不屋(村)人夫(駿勝侯)ノ清水方、ナテ
ノ取酒ヲ依願ス全成明朝竹相振、ナリカヘリ
序、一休ノ室賢ノ福、於一ノ数福、在在等、ミ月
天ヲ毛フ

天皇
量

儀案

十時羊也社
各部重役聯合会、列席ス
奥村政雄氏、鉄鋼保ヲ獲、南スルミ更方ヲ
支取ル
造以会社、ミ云ノ取酒費又書、ナスルミ更方ヲ
慶慶ミ之ヲ青木氏、慶ス
五時一五時、宅、瑞寧洋行、ナテノ由奈子招
宴、赤坂三河屋、赴リ河北、依伯、カ茂、赤度
大島外一名皆理代、ナテノ泰斗ナリ主人、創ハ
由奈子、添ハ二回、五時、九時、瑞寧

魚天
晴

暖寒

夜今島清茂来

九時四十分出社

会費金銀金銭見三六島村古席三付、取振
信集金、以三洲より為大席

白仁共五ト而、格ノ領事ヲ社長、報告シ三三川成
三時五十分合メテ、日、店買易株新株

ナ株日多、一社共ノ基認ヲ得ナリ
現理事室ニ、取振金ヲ周ナシ藤氏、陳情
スナリ

智鐵会社ノ為キ後三時、鐵道院、以三石丸
副總裁、面談、有、中、鐵道院、需要、鋼

鐵ノ量、ナシ、金メテナリ
年額十、四、百、也、内、智、鐵、金、七、百、也、其、國、仍

四、百、也、店、文、鉄
部、ナシ、主人、前、三、三、川、成、執、事、五、時、半、出、社

十時十五分出社

魚六
晴

暖寒

十時十五分出社

社共、以、日、石、丸、列、格、裁、ト、計、議、ノ、模、樣、ヲ、取、寄、レ
十時四十分工業部、部、智、鐵、ノ、内、ス、リ、理、事、

会、以、三、石、丸、ノ、工、業、基、礎、金、銀、金、銭、以、三、石、丸、ノ、工、業、

収、取、振、金、ヘ、テ、以、三、石、丸、ノ、工、業、基、礎、金、銀、金、銭、以、三、石、丸、ノ、工、業、

米、國、智、鐵、金、銀、金、銭、以、三、石、丸、ノ、工、業、基、礎、金、銀、金、銭、以、三、石、丸、ノ、工、業、

五時五十分出社

弘、毅、寺、僧、ヨリ、三、三、川、成、一、人、格、ヲ、由、合、ト、對、シ、絶

對、不、成、ノ、事、ナリ

魚六
晴

暖寒

十時十五分出社

社共、以、日、石、丸、列、格、裁、ト、計、議、ノ、模、樣、ヲ、取、寄、レ
十時四十分工業部、部、智、鐵、ノ、内、ス、リ、理、事、

会、以、三、石、丸、ノ、工、業、基、礎、金、銀、金、銭、以、三、石、丸、ノ、工、業、

収、取、振、金、ヘ、テ、以、三、石、丸、ノ、工、業、基、礎、金、銀、金、銭、以、三、石、丸、ノ、工、業、

米、國、智、鐵、金、銀、金、銭、以、三、石、丸、ノ、工、業、基、礎、金、銀、金、銭、以、三、石、丸、ノ、工、業、

天
氣
而
後
云
暖
寒

十時五十分止社

後
云

取修役会沢ノ櫻林ヲ見ル
錢道院理事 鈴木 成 大園成ノ件ニテ未
訪

田舎ト共ニ菱三島合ノ利益知合方ヲ決定ス
藤野鼓造成明後十七日午前九時十五分米田
井、秋、人、向、戦、之、ノ、為、本、所

五時迄云

手差、リ、ナ、我、来、リ、五、言、ヲ、得、ム

明六日松平梅三ノ成、昭、拜、ノ、件、折、ル

天
氣
而
後
云
暖
寒

朝九時半ハ不來、錦治若ナリ賜フ

十時半廿一ハ成、夫、修、本、所

会時吉田鐵太郎、本所

午後一時入江、采、吉、本、所

四時半至五時天祥下(湯島)呈、成、吉、本、所

其山、成、本、山、水、由、信、成、呈、山、水、校、物、隱、之、五、下

其、山、田、道、中、鐘、懸、紙、本、之、改、は、成、井、菱、田

春、草、映、鴉、校、知、表、成、ヲ、依、賴、ス

綿、金、里、門、所、田、島、之、外、リ、而、獨、度、赤、壁、右、面、陰

古、不、露、而、部、一、至、能、幸、介、石、春、呈、山、水、三、葉、ヲ、借、リ

来、リ、今、時、館、而、改、費、櫻、文、泉、ノ、五、山、水、二、幅

天晴
後雨
暖寒

比朝牧手未

丁町手去社

並器取應テメノ買入ル植竹成地而工事五井
斗ノ格近長不足今仁成ヨリ之ヲ化し訂正セシ
午後一時芳御内題要々會ニ産業俱部
掛リ

三時裕社主ノ主人ノ付し沼田ノ開入之是ヲ
陳述ス要ハ正金ヲ以テ増資斗牛万同ノ株式
此後ノ銀行トナシテ芳御ヨリ公債又ハ株券ヲ以
テ並器會社ニ斗牛万同ノ株式ヲ以テ知れ會
社ヲ併合し會社ノ資本金千五百萬圓ハ合資
會社ニ於テ印拾ツルニ付リ
此時退去歸宅後風雨強シ

天晴

暖寒

十時半去社

芳御ヨリ我銀會社ヨリ主としてヤル石原表し
并ニ芳御ヨリ取テ

午後五時ヨリ劉ハニ一用合ノ振替銀行會
振合ニ於テ芳御ノ朝芳ヨリ芳御會社ノ妙ル内為
久仁成氏給主事ヨリ九時退去

氣天	氣天
氣	氣
暖寒	暖寒

(四正大)　すと虜捕を千五萬二十軍喚し領占を塞要ルスミセブ軍費

金
申

氣天	晴
暖寒	記

馬關和條約（明治二八）

漢方
亥乙

日四十二月三

月二日未己
日三十一

陰 陽		陰 陽		風天 暖寒
陰	陽	陰	陽	
				十一廿七社
				氏祿丘ニ下ル本宿禰太新道白倉文方
				氏スル今井ノ言今井面孤直然アリ
				三廿後所ノ事ハ吉本ト共ニ社次ノ意見ヲ
				陳述シ鑑行ハ三十分同知トシ親銀ハ武
				牛百田打切リノ一(昔何ツリ機、住者トナリ)ノ
				所全重リ十二所次導也

(元治文) 戦の浦の境 (三三治明) 行舉式通開道本市戸神

87

月二日未己
日三十一

日三十二月三

漢方
戌申

陰 陽		陰 陽		風天 暖寒
陰	陽	陰	陽	
				晴
				八廿度内水飯ヲ也ヲ古河ノ別荘ノ殿宅
				城郭ニ赴キ小林方ノ植木若干ヲ翳ッテ
				置キ赴キ遠慮録ノ中食同所建ハ若坊
				ニ赴キ四所導跡大廿四分自御平ニテ国
				并津ノ出テ九廿五十五分食ノ洗平ニテ導跡
				宅ニ導跡ハ十二所ノ處ニ国并津ニテ而席ル

(二治明) むしけ設を校學小に縣府

86

大正
十四

暖寒

十時半出社

十一時三十分

十一時半退社

久松氏より

一、権利ヲ照つて、付て久松氏ハ、権定ヲ

保つて、之を合意ス

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

大正十四

大正十四

大正十四

暖寒

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

午後七時

無火
皇云

暖寒

今朝多分漸リ快ナリ午前中振集二三持
客ス二時又店ノ至リテ却坂本西へリ而後
不其始ナリ多分皆堅花煙ノ吹散ナリ
九時半帰ル

皇本
寛成

無火
皇云

暖寒

朝ヨリ未表迄ヘバ十二時頃漸リ朝飯ヲ
トレリ午後周ニ遊ニテ夜半至リ昔迄ノ如
ク
九時ニテ分々持客ヲ西下乗ニ各々集散ル不
愉快ナリ相路ニ過テ不帰ス

天氣
二

暖寒

[illegible]

九時羊下ノ洞着支店飯木、及名張中ノ村
田会計課長ノ出立妻ノ後門直ニ電車ニテ
茗椀、おキ又店ノ主方リ茶屋重役会、列ス会
スルモノ松井、金子、吉田麻生、白人議決ノ要飲
た如シ

一白石、後任松本健次郎、武

一白五氏、市銀金三万円贈與、事

一戸烟、理立許廿地、有し、之、東洋製錢、母し八万

此内理は土不許下、仕る、
 國頼ノ用をマシ、替り

成行與心

大ニ東洋製鐵ノ工事、煤場ヲ視察スル事、
其ノ馬肉ト云リ大ニ受降ス。松原新入、秋田方城

和人廣集上卷八

天氣晴

研究

朝食後ヨリ松隈ト屈基午後ヨリ乃石采リ
会シ時基茂一移ル松浦解シ帰ル

辰日天无云日曜日云々乃以テ各社ノ花見船三
 々五々大座車ニ成リ花見ヲ行シ其并ニ句ヲ言
 午後七時十分参リ終ルニテ東上ス

三

午後四時、愛久原直ハ氏來訪、長談、痛飲、夜半
ムカブ武田氏亦花壇ニ各席ヨリ海軍提督席
ニシテ又席大キ振師ヲ伴ヒ帰リ、半夜尚ほ々々
余ハ寝ヘズ、逃シテ寢、俄ノ

94

陽 夏	陽 秋

乙亥年牛福肉

天
晴

法
記

午後一時又席、三ツ大ツリ造船如、向フ所々
ニエリ自備奉、送レテ神ル夕合後、秋奈、對キ
展望十(時)ニ至、永佐茂島、比一(角)士、探心
松風書三編ヲ又自(四)ニ編フ

辰巳	辰巳	辰巳	辰巳	辰巳
辰巳	辰巳	辰巳	辰巳	辰巳

(二一四) 辰巳 辰巳 辰巳 辰巳 辰巳

辰巳	辰巳	辰巳	辰巳	辰巳
辰巳	辰巳	辰巳	辰巳	辰巳

(六正大) 辰巳 辰巳 辰巳 辰巳 辰巳

大風、晴、寒

十時、羊、社

今升羊次郎、板屋及奥村、並、草、澤、茂、三、南、樺、木、
 太、額、針、込、三、井、依、成、取、取、セ、ラ、レ、シ、報、告、ヲ、メ、ク
 午後一時、羊、次、郎、相、男、父、母、堂、葬、儀、一、終、升、式、
 瑪、列、シ、掃、花、ス
 此日、有、馬、唯、一、關、奉、米、陽、面、成、而、合、ス
 午後五時、ヨリ、赤、位、郎、務、務、政、ヤ、成、ノ、合、ノ、井、
 美、ト、共、一、地、精、養、好、一、赴、リ、末、松、担、索、願、代、
 官、馬、域、若、手、台、和、演、説、セ、面、白、シ、九、時、羊、次、
 充

大風、晴、寒

花、山、雲、ナ、リ、朝、十、時、羊、貝、島、榮、四、郎、氏、未、訪、

正午、田、辺、派、天、守、祖、父、ノ、伴、ト、未、訪、田、邊、教、刻、
 中、段、後、自、留、車、ニ、テ、ス、リ、カ、ヘ、ス
 三、時、山、腰、仙、心、ト、未、未、訪、
 故、白、石、直、治、氏、記、念、堂、金、藏、具、奈、吾、人、三、美、塔、
 ノ、端、書、ヨ、中、山、次、三、郎、氏、ト、共、三、時、春、花、
 代、ハ、古、市、公、成、氏、ナ、リ

無火

三

暖

十一時出社

昨日山内下合、永井外宿、夜半、秋

より会社、室役、雨、社、秋、夜

夜、山内、中、生、野、荒、川、鹿、山、方、風

主、直、島、及、大、坂、雨、社、秋、夜、雨、中、生、

地、主、

十時、雨、中、生、野、夜、分、腹、痛、下、痢、六、回、及、

無火

三

暖

八時

腹、痛、カ、メ、リ、行、カ、長、良、真、下、送、學、士、来、珍

マ、美、子、三、十、八、分、ハ、分、

夜、分、カ、メ、リ、容、格、ヲ、守、ル、

月三日 未巳

08 2005

025 202

天瓶

疇

暖寒

22

三

川中 神立大いヨロシ
奥山 針山 伊夜 赤介 氏 本 防 毒 々 面 会
飯ヶ台 ヨリ 答 俵 々 カル
糸川 氏 介 本 防

(一六八一) る起争戦北南國米 (元正天)す蔡玄信田武

107

己未年四月三日

四 月 十 一 日

已突

类型

隱 疾

天氣

曉

暖寒

100

三

瓜強し
川に秋か養良強しと手執る彼ス

(元治明) 上渡明城戸江 (三正大) 御崩后太皇靈昭

106

晴
暖寒

引替中
凡尋良一又妹手在八時二十分ノ汽車にて去之

晴
暖寒

十一時半出社
准雅別在連見代ノ内金千圓新美清吉(運清)と支地フ
第何主人室ニ筆用ト所談智誠増資并
銀行資本額ヲ決定ス
政少向者工一日休見九ノテホ桑ミタル
外無係電代ニ一路手金千ノハ吉用
朝ス
五時半退社
宿許ノ李家隆介公本訪

晴	陰	雨	雪	霧	風	天
晴						晴
本社 海外出張、午後、密						
十時止						
社長ヨリ、桑田、藤、中、松、金、社会、長、 と、依、頼、ア、リ、准、而、き、他、の、一、任、 者、ア、ラ、レ、バ、敢、テ、辞、セ、ザ、ル、旨、返、答、ス、併、ガ、 其、下、ノ、派、係、ハ、社、長、ノ、注、意、を、知、ア、リ、到、底、 性、格、ノ、相、違、ニ、致、進、出、本、資、格、を、知、見、旨、 ハ、語、ア、リ、困、マ、ツ、モ、ナ、リ、						
桑、田、三、三、川、灯、台、ノ、席、ハ、松、ヤ、レ、列、席、ス、 此、日、古、山、山、岸、反、会、社、協、会、ア、リ、古、山、反、衣、次、 郎、下、村、治、ミ、助、雨、式、上、京、出、席、ス、 午、後、五、時、小、川、鉦、吉、后、催、カ、ル、田、大、坂、事、門、 學、校、全、事、者、ノ、会、合、ア、リ、列、ス、ル、モ、主、客、三、三、 人、多、シ、皆、知、名、ノ、士、ナ、リ、七、時、中、江、木、松、介、山、口、 ハ、此、日、有、不、入、下、村、雨、式、招、待、ノ、列、ス、十、時、止、						

晴	陰	雨	雪	霧	風	天
雨						雨
十一時止						
社長、主、創、出、初、頭、痛、有、ミ、午、時、止、出、席、 セ、ス、						
其、所、主、人、ノ、招、キ、ヨ、リ、莊、司、ノ、無、難、後、六、時、 半、所、止、ト、キ、キ、社、務、整、理、ハ、午、後、十、一、時、 ニ、至、リ、テ、締、ル、雨、強、シ、						
社、日、報、載、會、社、宣、授、合、ア、リ、其、所、列、席、決、 義、ノ、期、ス、ル、打、合、セ、ア、リ、						
商、工、雜、話、ノ、周、本、米、吉、本、社、試、ミ、月、百、 部、(九、同、金)十、月、方、可、リ、交、首、返、事、失、一、月、分、 ト、シ、テ、拾、同、ミ、成、ス、若、古、ハ、土、佐、飯、多、ノ、キ、ナ、リ、ト、 オ、フ、難、法、ノ、趣、を、思、ハ、サ、ル、ガ、ナ、リ、						

晴

暖

羊子、昨日、
のりあてし

十時羊子、社人、次内、形、自、之、あり、大、反、次、
 良、活、ア、有、ア、ス、
 社、長、ヨリ、案、田、領、以、成、區、蔵、手、足、ハ、相、談、
 アリ、
 植、田、建、立、ヨリ、送、り、越、え、山、口、如、ノ、銅、山、基、松、
 井、ノ、養、年、田、所、近、山、田、ノ、因、面、ヲ、室、松、成、ノ、
 シ、テ、調、査、深、一、四、し、不、利、ノ、田、名、ヲ、サ、シ、ム、
 幸、田、子、ヨリ、些、銀、土、方、ヨリ、依、然、ノ、實、ノ、案、(マ、カ、
 ス、カ) 銅、山、ノ、所、ス、ル、方、方、ノ、之、向、向、合、アリ、室、松、
 子、研、究、ノ、エ、ル、事、ス、ル、コ、ト、
 幸、介、ノ、案、提、出、如、有、株、評、價、表、ヲ、反、入、合、
 時、破、産、法、ノ、研、究、ハ、亦、依、然、アリ、
 五、時、退、去

晴
 暖
 羊子、昨日、
 のりあてし

十時、羊子、社、人、次、内、形、自、之、あり、大、反、次、
 良、活、ア、有、ア、ス、
 社、長、ヨリ、案、田、領、以、成、區、蔵、手、足、ハ、相、談、
 アリ、
 植、田、建、立、ヨリ、送、り、越、え、山、口、如、ノ、銅、山、基、松、
 井、ノ、養、年、田、所、近、山、田、ノ、因、面、ヲ、室、松、成、ノ、
 シ、テ、調、査、深、一、四、し、不、利、ノ、田、名、ヲ、サ、シ、ム、
 幸、田、子、ヨリ、些、銀、土、方、ヨリ、依、然、ノ、實、ノ、案、(マ、カ、
 ス、カ) 銅、山、ノ、所、ス、ル、方、方、ノ、之、向、向、合、アリ、室、松、
 子、研、究、ノ、エ、ル、事、ス、ル、コ、ト、
 幸、介、ノ、案、提、出、如、有、株、評、價、表、ヲ、反、入、合、
 時、破、産、法、ノ、研、究、ハ、亦、依、然、アリ、
 五、時、退、去

陳記

2.

妻不辜也反弱婦出之事以攻之壯

妻不寧而臣弱願出之事一文一壯長一以余

子傳子傳スル知アリ

若松畢勝
松本健次郎氏、對し、内野下屋上、談

話次弟子圖知

五時羊食出時食星內所出鳥之立也交介不

山水、恒益、夜間、草山、何禮子返封又主人天候

陳西初行字不在小僧房已置

西陲下
農
必
者
三
度
一
當
於
寧
夏

(廿一日宣統二年)

太倉臺曰方山也石之堅莫不

二二

十一

十冊年內奉新教訂者(臣等)工係正親王奉

西比利亞よりスル不公義ノ
報復ニ

其朝、テ マシ リ キ タ ラ ハ シ

張氏對我施、金於同（六月合）子辰又

午後一竹竿豊川良平翁ヲ訪レシニ九歳社長

交代はし
倉見し
糸不考
成り
而
考

スリニキキニ
子

THE UNIVERSITY OF CHICAGO

晴

暖寒

十時半出勤

市町大蔵のりて公勤

午後一時三十分り 銀行金貸しに三時各事務

部より大蔵会社に福川添付(功)大蔵(二)次回

協会より草木葉造り取り役、自介温太監役

通下り市町、町合目ナス

社、市町所長を会合修正し、信友社、

調領より大蔵取り更し、正室市町所長、

市外市町より野火とる、市町工部所、

四十分り、

五時半出勤

夜分、市町所長、市町所長、十二時、

市町所長、市町所長、市町所長、

晴

暖寒

十時半出勤

市町大蔵のりて公勤

午後一時三十分り 銀行金貸しに三時各事務

部より大蔵会社に福川添付(功)大蔵(二)次回

協会より草木葉造り取り役、自介温太監役

通下り市町、町合目ナス

社、市町所長を会合修正し、信友社、

調領より大蔵取り更し、正室市町所長、

市外市町より野火とる、市町工部所、

四十分り、

五時半出勤

夜分、市町所長、市町所長、十二時、

市町所長、市町所長、市町所長、

大正
四年

大正
四年

大正 四年	大正 四年	大正 四年
----------	----------	----------

十軒羊出社
社長、面談、浅野、三、一、中、に、お、し、し、説、明、ス、ル、
ア、
園村、成、り、毎、比、制、重、去、成、久、ノ、牛、死、ハ、大、局、智、
有、キ、友、名、成、ト、合、格、ト、ナ、シ、其、金、額、ヲ、神、メ、
農、事、省、有、知、メ、余、ハ、(任、命、サ、ル、キ、会、社、) 各、
社、ノ、多、少、ト、ナ、シ、公、益、公、司、ノ、入、七、社、均、ニ、三、
万、円、ヲ、貢、納、ス、ト、定、メ、ラ、ル、
席、上、信、一、々、成、格、別、并、一、牛、上、有、島、利、長、知、
村、助、ヲ、付、寄、寄、ハ、任、意、ス、ル、タ、リ、
午、後、ヨリ、親、親、会、社、ノ、手、事、旁、ヲ、見、ル、
立、テ、方、ヲ、本、部、并、一、並、二、酒、一、メ、元、
各、皆、幸、々、成、事、訪、妻、木、成、九、歳、味、主、ヲ、并、
ル、方、は、主、若、リ、四、軒、羊、出、社、

大正
四年

大正
四年

大正 四年	大正 四年	大正 四年
----------	----------	----------

十軒羊出社
親、分、に、成、井、所、六、四、各、親、分、署、太、ハ、カ、カ、出、
立、金、有、キ、若、田、部、使、一、三、三、三、
久、幸、田、部、知、事、成、本、訪、北、權、太、一、成、レ、話、ス、如、
一、三、田、部、石、ノ、外、ニ、大、倉、ノ、加、入、ヲ、羊、分、推、割、内、ニ、并、ス、
一、三、田、部、費、用、増、加、万、因、ヲ、新、規、ノ、組、合、ニ、移、シ、マ、キ、
一、会、社、成、立、ノ、協、合、資、本、ノ、一、割、ヲ、大、展、上、水、一、口、主、ト、ス、
ル、
一、下、レ、キ、サ、ニ、ト、ロ、ス、ク、久、余、把、水、ヲ、古、方、洞、査、隊、ノ、使、
用、一、口、主、世、差、又、キ、
根、據、ノ、上、何、分、ノ、通、手、ス、ル、キ、事、ヲ、及、言、シ、社、長、ノ、二、見、ヲ、
礼、シ、久、余、任、意、ス、ル、成、シ、ト、ス、
四、軒、親、親、会、社、ノ、行、事、旁、ヲ、見、ル、五、軒、親、出、社、降、
降、小、坂、九、三、三、本、社、附、助、ノ、校、方、ノ、来、ル、

陰 雲	陰 雲	無 天
		晴
朝ハ川頃迄ハ雨降リタルモ爪強クヤキヤメ天ニ トナリ砂塵ヲマクモコレリ 十時羊出社十一時羊弁山然福会委合会出 朝告才(児持リテ)製会合社ノ事勢ヲ知理 レ一時羊日本製糖社長岸山奎太氏ノ全 部ノ国産合、母リ未合者ヲ余ノ朝野ノ名士 ヲ囑羅ス三折吉余歌板名アモノ殆ント全部 ヲ集メタリ金生ノ往リ名領ノ額アリ一重園 ノ様殿ニ設備至リハセリ而モ只彼ラニ花 草美ヲ競フノ趣アルハ主人ノ為メト云レ也五 時羊地方長官久内柳澤友分氏ノ連牛招三 十名ヲ御座、柳島若、柳キ置キ来ラ以テ直ニ 之ニ赴ク散ッ人レテ十(時限)散野屯		

陰 雲	陰 雲	無 天
		雨
十時羊出社 此日朝 雨降下 靖国神社、白土太子ト共ニハ参拜 ラセリ 社長、久富ヘノ位ニ参拜、各藩トハ合会モヲ執 滿我ニ参拜、野村邦太郎氏ヲ訪ヒ社長 仕免ヲ出ヘンセテ明日ニ参モホテルヘ相持ノ断リ ホブ 龍城出役々并ニ倉庫ノ事仕ラ訪ヒ梓金製 合社、ニ参リ立時出 村上鳳岡氏ハ主君、参リ去 夜方大ニ也田岸才平 山東同業、開シ日本ノ主收、徴シタリトノ ナリ		

天気

晴

暖雲

時

日

朝九時半製錢会社に出社事務見十一時
ヨリ針葉会社へ事務ヲ往ル

午後一時五十分東京電報社へ青森金伴箱
振付金十四時十分自備車にて強羅へ着陸

羅飯へ夜歸ス

着早々普請場へ行竜山余月子へ合合庭

庭へ打合サナス金子兩日前ヨリ滞在今夕終

京七時頃迄をタリ屋屋ヲナシ帰入湯後

十時就床

並近の色ともなうて夕のすみ

なまひく山と海とたこる

天気

晴

暖雲

時

日

朝お世起キとテダリ四時頃三リに鳥ノチヲ少ク
吉川の(作中書)ニ有リキマシテ其ノ刊本ナキ

ヤブノミナリノ鳥ノチヲ目録ナケル

朝お世起キとテダリ四時頃三リに鳥ノチヲ少ク

八時ヨリ夫等ヲ捕テ普請場へ行キ赤き飯ニテ

四時半迄植木其ノ他ノ庭園ヲナシ五時半自備車にて強

羅飯へテ山ヨリ七時十分自備車にて強羅へ着陸

京

竹青東宮殿下御下御年式ニ依テ葉枝状ニ五六隻ノ

軍艦破肉蓋ニサイケライトヲ放テ在リ吉川沖ニモ

軍艦ノイルミナリシアリ馬場突門ノ奉祝門ノイル

ミナリシニ花電車ニ乗リ馬場ヨリ十時帰宅

晴	暖	生部以スナリテ致	心算ノ新組合ノ事	勢更五時迄云	手刺ノ寺ノ全通梅	園ガノ更那刺ノ更し神	日御ヨリ一様持也
---	---	----------	----------	--------	----------	------------	----------

上海華字堂式末等ノ一冊を以て合セヨシキ
 什ノ美語ヲ得タリ
 社長ヨリ武市氏返信手宛ノ件ノ相談アリ又北
 澤大徳君組合ノ人々ノ入リ石ハ澤ノ社員ハ
 ル久奈（三長ノ合）三田日石、大倉ノ組合ハテ度田ハ
 子信ナキトテ説明し置ナリ、南木村ヨリ農務局山
 外石長有見ル、自分代理トシテ出頭シタル後ヨリ
 北澤大徳君組合ノ事ヲ合式ノ説明し置ナリ

七期前田知事成リテ開会合ノ件ヲ電達アリ

晴

暖

晴	天	暖	今日奥都五十年記念日ニテ満都皆休也未上野公園	而陛下并皇太子殿下ノ幸故ヲ仰キ其式ヲ奉	ノ余ハ田中市長ノ案内ニテヨリギ場参列ノ為ハ時十	介自國事ヲ也セテ上野ノ白フ三枚橋ノ田ハ群集數万	其後難名伏ス可カラズハ時五分頃着式場ノ順亭	反ノ也	而陛下九時正門十時十分正門場白太子殿下	各皇族、皇妃殿下セ分列 四ノハ右ノハ左	田中市長、長官、副議長、一ノ歳三歳	式後主会、御食ニ應リ十二時正散式場内無	上野三午場外五品ヲ散フ奉以同ニテ白山ニ往回	ニテ帰ル	船四ヨリ上野手摺ニ知理ヒエカキ見テ未電メ	ノ第何主人ノ電達通信スルヲ知ナリ
---	---	---	------------------------	---------------------	-------------------------	-------------------------	-----------------------	-----	---------------------	---------------------	-------------------	---------------------	-----------------------	------	----------------------	------------------

六日市中一催シノ主テテノ大名行列、花電車、芝居、大品大等ナリ

晴

暖寒

陰	陽

十時半 針金会社、本社三宅川妻木トネ
 十一時 針金会社、本社三宅川妻木トネ
 十二時 針金会社、本社三宅川妻木トネ
 十三時 針金会社、本社三宅川妻木トネ
 十四時 針金会社、本社三宅川妻木トネ
 十五時 針金会社、本社三宅川妻木トネ
 十六時 針金会社、本社三宅川妻木トネ
 十七時 針金会社、本社三宅川妻木トネ
 十八時 針金会社、本社三宅川妻木トネ
 十九時 針金会社、本社三宅川妻木トネ
 二十時 針金会社、本社三宅川妻木トネ
 二十一時 針金会社、本社三宅川妻木トネ
 二十二時 針金会社、本社三宅川妻木トネ
 二十三時 針金会社、本社三宅川妻木トネ
 二十四時 針金会社、本社三宅川妻木トネ
 二十五時 針金会社、本社三宅川妻木トネ
 二十六時 針金会社、本社三宅川妻木トネ
 二十七時 針金会社、本社三宅川妻木トネ
 二十八時 針金会社、本社三宅川妻木トネ
 二十九時 針金会社、本社三宅川妻木トネ
 三十時 針金会社、本社三宅川妻木トネ

晴

暖寒

陰	陽

十時半 針金会社
 十一時 針金会社
 十二時 針金会社
 十三時 針金会社
 十四時 針金会社
 十五時 針金会社
 十六時 針金会社
 十七時 針金会社
 十八時 針金会社
 十九時 針金会社
 二十時 針金会社
 二十一時 針金会社
 二十二時 針金会社
 二十三時 針金会社
 二十四時 針金会社
 二十五時 針金会社
 二十六時 針金会社
 二十七時 針金会社
 二十八時 針金会社
 二十九時 針金会社
 三十時 針金会社

辰未
酉癸

日一十二月五

月四日未己
日一十二

晴

晴

辰未

雨

辰未

辰未

昨夜半三リ雨降リ暑気大ニ輕シ雨外
より貝合セ訪客多様午後九時廿分神
戸驛にて銀錢赤事松田貞治郎々金
隨尊川上雨成、会合西下ス

(五二治明) 施實例修安保 (七七八一) 寸言宜を立獨ナニマール

147

辰未
日一十二

日十二月五

辰未
申辛

晴

晴

辰未

晴

辰未

辰未

朝九時神戸着暑気大ニ盛リ盛夏ノ感ナリ
午後有吉和事、午後九時廿分神
戸驛にて銀錢赤事松田貞治郎々金
隨尊川上雨成、会合西下ス

146

(〇二治明) 布 公 令 位 學

氣天

晴

暖寒

朝六時半馬鹿着河午、手平、平石等諸
 人、出巡、支ケ大志、入ル、手教、食後、平石、知長、
 掌四、子、夜、島、遊、遊、知、櫓、内、外、月、視、索、し、鎮
 じ、船、改、造、ノ、模、樣、及、電、氣、ウ、元、ナ、ン、新
 草、社、七、事、ヲ、見、大、吉、祥、リ、九、時、出、汎、新
 雁、凡、一、搭、乗、ス、凡、穩、リ、星、半、煉、々、リ

氣天

晴

暖寒

朝六時、起、床、中、板、去、ッ、バ、船、ハ、村、少、ヨ、西、南、
 又、テ、走、リ、船、室、ノ、端、リ、雨、ヲ、就、床、七、時、半、雨、
 邪、ヲ、服、装、ノ、改、ム、八、時、朝、食、九、時、出、谷、山、入、虎、渡、
 ノ、場、中、近、ノ、有、様、全、ク、田、地、ノ、異、テ、多、ク、時、半、一、時、
 急、ニ、テ、京、城、南、大、門、向、ケ、出、発、途、中、大、坪、大、岡、
 等、大、停、車、場、ノ、地、ハ、全、然、日、本、化、セ、リ、錢、路、近、傍、
 ノ、山、岳、如、陵、栖、林、至、リ、八、十、リ、數、十、年、後、ハ、松、
 樹、ノ、林、計、々、タル、ヲ、保、リ、ト、午、後、八、時、頃、京、城、若、梅、
 等、館、錢、寄、附、方、時、田、京、城、主、任、事、ノ、出、巡、ヲ、去、テ、
 朝鮮、ホ、ル、ハ、八、夜、分、燈、留、存、農、工、階、級、村、田、
 未、一、部、今、村、参、事、長、大、郎、常、三、郎、兩、氏、ノ、来、
 訪、ヲ、待、テ、リ

晴

暖

晴

朝八時、速習、本校、師、岡、本、佳、次、郎、氏、ノ、訪、問、ヲ、受、ケ、
 川、根、智、山、翁、氏、ノ、訪、問、ヲ、受、ケ、
 自、御、車、ヲ、リ、速、習、ヲ、訪、問、村、田、理、長、ノ、宅、内、ニ、テ、
 川、根、智、山、翁、氏、ノ、訪、問、ヲ、受、ケ、
 各、高、長、理、長、ノ、訪、問、ヲ、受、ケ、
 梅、田、河、田、兩、氏、ト、共、ニ、新、山、ノ、鐵、道、ヲ、理、長、ノ、久、保、
 分、長、ノ、川、江、工、務、部、長、ノ、訪、問、ヲ、受、ケ、
 並、却、リ、又、夫、リ、大、隈、若、再、建、シ、目、下、廢、殿、ト、
 上、レ、ル、聖、德、寺、跡、々、傳、知、領、ヲ、買、シ、而、カ、佃、耕、
 銀、割、込、式、々、周、平、佐、次、郎、氏、ト、共、ニ、復、々、四、丁、三、成、
 事、ヲ、也、立、夫、リ、綿、途、十、代、ノ、三、畝、名、長、ヲ、ト、
 爲、ス、ル、藝、豆、飯、長、氏、ノ、及、廣、島、ノ、年、亦、竹、内、地、料、
 理、店、ノ、如、シ、十、時、帰、領、

晴

暖

晴

暑、氣、甚、シ、十、時、京、城、名、立、葉、少、シ、テ、並、ニ、浦、行、
 役、車、ノ、乗、者、ヘ、三、丁、半、割、銀、名、着、一、丁、半、割、如、
 入、リ、川、根、鐵、鋼、部、長、ノ、宅、内、ニ、テ、直、ニ、割、銀、工、
 場、ヲ、巡、視、シ、七、錢、ノ、模、様、ヲ、見、出、シ、賣、銀、ノ、大、水、上、
 針、葉、電、氣、部、長、ノ、京、城、ニ、テ、合、合、同、伴、セ、リ、夜、
 介、奉、車、ノ、以、テ、晚、夕、食、ヲ、共、ス、

大正
四月
廿二日

日六十二月五

大正
四月
廿二日

大正
四月
廿二日

大正
四月
廿二日

七時起床朝飯後梅野知長及河折部長ノ
案内ニテ水端、スラグブリツ、船入渠ヲ巡視シ
午餐後河折部長ノ案内ニテ銅場ヲ回見
シテ長崎近所外に於テ三ヶ、四ヶノモートルニ
基ヲ置テ外ノ破産アリキ分銅板、ビレット等
ノ見込タバ、店分梅野知長ト同基

152

(○一同) 千葉孝子 大正 (七三治明) 千葉古之達大・山崎・城川金軍我

大正
四月
廿二日

大正
四月
廿二日

日七十二月五

大正
四月
廿二日

大正
四月
廿二日

大正
四月
廿二日

朝河折部長ノ案内ニテ三ヶ、四ヶノモートルニ
午餐後梅野知長及河折部長ト共ニ立ニ
浦鉾山ヲ巡視ス鉾山ト云フヨリハ在平口土鉾
ト云フヨリ至サリ鉾山ト云フヨリハ在平口土鉾
山ナリ西崎山及石灰山様収ノ様様ヲ視テ
及本山ノ様夫社モヲ見テ病院ヲ訪ヒ
立時羊蹄鉾衣分事務枝所以上五ヶ名
ヲ招キテ同食應ヤス

(八三治明) 戦 海 大 海 本 日 153

無天

晴

晴寒

日

日

昨日通一夜工場内外に視察して、
午前十時在館日記を草す
午後三時知事より式夜ヲヒテ工場内スル
心向ヲ試ム。夜分冬衣及山歌格書等出ル武
蔵が事ト合会後、後園若石、河村若石、而却
長及在面、基若(笑)見ユ。

無天

曇

晴寒

日

日

無天

曇

晴寒

日

日

朝十時知事より別々至テ、
ミラレ梅野知事、石原保良、松田永幸ト共、大同
江ノ下リテ鎮南浦ニ赴リ江流破世濁水并々
兩岸ノ沙迹潮ヲ巡ヘテ波ニ断達ノ忙、
リテ微ナリ、取程一時半鎮南浦ニ達シ有テ、
お血ヘテ支テ、赤飯ニ入ル中飯、後、
夕、湯ハレ、夕、和園、
ナリ五時旅飯、
招待シタル後亭、
ナリ園、深定、夕、
夜亦眠ヤス。

天
晴
後
雨

晴
雲

朝七時羊エ地有老ノ銀清ニ應シ積亭
朝餐ノ餐食ヲ立テリ朝飯ノ案内ハ茶人ヲ并
ル余ヲ始テセリ陪席ノ藝者ノ眠ヌルモヲカシ
雜談ニ時同辭ニ停事場ノ藝キ一全ノ見送り
ヲ交テ事午ノ人トテ大手驛ニ下事自働車ニ
轉ニテ大主面炭山ニ入ル事如ニテ亦チツカヒ一
庭取口ヲ視テ余ノ會ノ様様ヲ少キ運炭係
塔ノ沿フテ野生ノ莖葉ヲ洋々タルヲ賞シ終端
積込場ヨリ再度自働車ニリ一時同ニテ平
環連シ御座飯飯ノ人田靜ニ行住キ鮮
田モノ日本式飯飯下リト思ハル梅野氏ト同暮
床ノ武リ公如ハ山形部長来リ会ス

天
晴
後
雨

晴
雲

朝九時傳ニテ梅田松田川ニ石余金道海軍
炭炭火水水方乃リ寺洞ノ事如知ノ房内シ
淨金田ニ大同江ノ流リ大同川ノ入リテ緑光
亭ノ行共カ飯飯ヲイトニ飯飯水ノ昔ニテ保ニ江
ニ沿フテ上リお紋ノ茶屋ノ王リキ餐食コトリ江
岸ノ爪更テ更ニ津碧橋水明寺ノ牡丹台下ノ
三武門ニ至密三葉子廟幸ニ視五時時飯
七時直良食、駐在海陸武庫道禪負ス事ヲ
招待シタル、午ノ十時時停有
此日飯飯ノ餐食休ヲ見ニト飲メタルモ暴動以來
群人ノ集ムヲ禁メシレ用飯でサルヲ以テ禁メス

月 乙酉

日 二 月 六

月五 日 未 巳

天氣

Life

時

漢

217

朝八時過銀山面矣昨日、金ヲタドリ沙皇院
ニ出テ、生、暫時休憩、幸テ旅ニ業リハ
時頃、京城歸者、朝斜、オテ、入ル夜分而
降ル

(九治明) 幸 駕 御 典 東 皇 天 治 明

160

片五開未已
日

日 三 月 六

厚火
成肉

氣天

積

暖寒

三

朝内解絆ニ座ヲ構ハシテ本王亦陳列
欠乏樹タリ朝絆ヤ販テ贈シタルモ何
庭ニ賣リ知レシタル婦リ受テモノ依
漸リ一着ヲ得テ價七十五圓午後ヨリ自働
車ヲ乘ハシテ郊外四里美州街道スル由
蹄金ヲ箱ニシテ看ノ日本教師ノ文不
西跡ヲ見テ小字川隆景勇我ノ若シ
ヘリ往彼三時向キタル婦リ今夕總督
各部長ハ各道長以下約三十名ヲオテ
待シタルヲ以テ七時ニ至リ一席ヲ設
國斉司長部長ハ任任トシテ各婦ヲ
十時散會

(八二治明) ふ行を式受授の島灣臺き基に約條關馬

161

園木
子戊

日 五 月 六

月五時未己
日八

陰 雲		陰 雲		氣天 晴 暖雲
陰 雲		陰 雲		
				朝九時馬麻着二江大赤入り午後山陽ホ テ、暖時席会し若花集既重役会し列ス 夕列停而花張、手奪、亭事会曉 夕食う共、ス

(元暦元)む認な狀越腰細義源 (一一治明)るらめ定な祭雲草の季二終春 163

園木
月五時未己
日七

日 四 月 六

園木
亥丁

陰 雲		陰 雲		氣天 晴 暖雲
陰 雲		陰 雲		
朝十時朝木門登得途、折り元大時麻 全軍松船新羅丸、塔来月夜獲り				

162 (二一聞)む改と社神國靖を社魂招 (一一治明)く説を臺文天に京東

實 庚

種 芒 日 七 月 六

月五 日 未 巳

03 22

八五 五五

氣天

日

寒

三

朝七時神を肴川上へ介し而て常盤入り
午後長田より赴り夜分工部式奉行

(一三同)ふ給み臨に會議てめ始下陸 (七一治明)布公例條標商

165

金
主己

六 月 六 日

日九未四十五月

當 亞

噶 散

大氣

...

暖

정

松原及力不石上國其石夕七時、轉之石ニ出方

164

支那大總統袁世凱殞

月 五 日 未 巳
日 二 十

[illegible]

(八三治明) す告勸か和購露日氏トルベズール領統大米

167

卯辛

大氣 昌云	暖寒
日	日
午後有末知事ヨレ佐知、福内、引石川水曜	
ノ件ヲ能シ置リ	

166

(六治明) む 定 を 別 反 敵 田

無天

日 癸

午前八時四十分東京驛到着
且掃庵十時羊玄社造館会社ノ堂役会列シ
午後四時社長ノ行シ演説視察ノ報告ヲナシ
針葉会社ノヤル田舎中ノ重要事項ヲ聴
取シ四時羊玄社造館会社ノ行シ演説ヲナシ
五時羊玄社
此日三打若手十三男文平死去ノ報ヲナシ
夜合雨降ル

無天

日 癸

十時三十分本社事務所ノ会談ナリ
田舎中ノ重要事項ヲ聴取シ演説ヲナシ
針葉会社ノヤル田舎中ノ重要事項ヲ聴
取シ四時羊玄社造館会社ノ行シ演説ヲナシ
五時羊玄社
此日三打若手十三男文平死去ノ報ヲナシ
夜合雨降ル

無天	雨	暖寒
十一時止社針葉会社ノ宣授合ノ列席ス 日本化草ノ縣尤吉式来宿竹内町軒ケツソノ 午一ト一合社ノ係也夫費二十余円ニ共ニ合 主才金銀價ハ高リ縣也而合スレバ右ノ内シ 日本化草ノ意見ヲモシラン自有一意見ヲマ カシトスルナリヤ依テ県村役所ニ任交ヨリ請 水ノ費用分機ハモタ其時様々ナルヤモ思フ 方任交田丸也ハ何レハ丁トス 三升ノ平ノ蒸候ハ八名刺ヲ三答一二代ハ ス 昨夜東京府知事ヲ召國おんノ相尋ノ暇 遂ニ力メテ不之奉夕終金一機ニ交ル 夜分箱振別在更人丈工 来ル		

無天	雨	暖寒
十一時止社 縣立二部妻社代筆試料ノ校師長聘用 ハ依賴アリ 若林氏 針葉調査課長轉任ハ各書院 見古快不任ハナシ仕事ノ合併言ハ合前主スル如 リ更ニ製錢会社ハ終ニ若林氏ノ轉任ノ 意向ヲ傳フ 六時終宅		

大
雨

暖

記

今朝井上末宗君が事、存葬当日、午会葬せし
トレタレモ、不用アリ、不果
午後、親友、我合社、各々、事務ヲ見、午後六時、
リ、演習、常盤堂、朝吹、中吉、氏、招、宴、し、候、ム
末宗、便、示、部、連、中、多、数、シ、ム、合、我、約、出、名
盛、会、ナリ、九、時、手、締、屯、而、并、ル
内山、之、成、女、未、訪、(合、社、ニ)

大
雨

暖

記

十時、出、勤、点、收、合、社、臨、時、重、役、合、成、候、席
入
親、友、合、社、主、事、以、上、係、ル、中、元、重、共、額、ナ
草、竹、一、葉、認、ヲ、得
一時、三、重、保、候、合、社、臨、時、重、役、合、成、候、席
邸、取、上、二、部、氏、ヨリ、川、澤、清、磨、氏、化、學、武、料
重、役、ト、シ、再、任、ノ、件、再、以、電、信、照、合、ナリ、明
日、返、答、ス、リ、キ、首、電、答、ス
松、本、健、次、郎、氏、ヨリ、安、内、海、下、君、知、事、ノ、案
オ、モ、若、松、港、内、理、業、ノ、件、ナ、ニ、宅、川、氏、宛、見
内、合、セ、リ、松、田、三、代、澤、長、次、郎、高、上、陸、海、ス、リ、ト、ス
内、山、之、成、女、分、未、迄、期、ナ、星、ノ、差、知、及、大、使
ナ、キ、ト、モ、春、酒、会、照、替、々、仙、居、ヲ、演、シ、テ、終、ル

無天

日 三

晴寒

日

朝雲山宗月成来ル箱振お御ノ一々讀
令会成日曜未山ノ意向うダク別荘引トシテ
夏期料理人雇入申会成依預スル方アリ
十一時止社在電郵金領收証ヲ神ノ支店
テ部羽子で送ル
他世料理室役改撰ハ差立リ川添子用選
アリタキ方 坂塚丘二部子直事ス迄ハ桐
島係一役ヲ川添一代ラムリヤリ 芳所ト打
合セタリ
午後五時帰宅

無天

日 三

晴寒

日

ナ時止社銀行営業ナリ金額ハ方面社長ノ
間ノ意見見相違アリ之レカ取俸ハ別シ而
方社長ハ而誤格付奉田青木ノ金ノ總テヲ
依托ヤルハ事トナリ明日方町ノ意見見
應取スルナリ
製鐵会社ノ失期ノ決算書類ヲ若返ス
五時帰宅
美介ノ腹痛治タシカラサレヒヨクナリ

日一十二月六

月五明未己
日四十二

氣大

晴

暖寒

十時止社製錢会社ノ事方ヲ視ニ次テ針金
会社ニ至リ中飯後止一時カ丁分弄メ金商
書生直田ヲ伴ヒ岡新津ノ印ケ出テ牛芥橋
邊ヲ以テ自備車ニテ險道ニ至リ四時合如
着降ト墨雲ヲ袂テ他リ車ヒ告ラス漸リ
八里登ト五里ノ二里ヲ仕ツクキ飯店スルキ
トナス庭園ノ栢岡ヲナシ暖餐食電燈ニ改座
アリ頗ル佳メ入席ク二三里ト点燈スルヲ俾タ
リ益衆ハ十時頃始メテ入浴スル事ヲ得タリ
我柳ト思ヘハ快感ニフクヤカルモノアリ浴台
全入浴ヲ許シ十二時就床ス

(五三同)るき刺亭星 (〇四治明)設新學大北京

179

日十二月六

月五明未己
日四十二

氣大

晴

暖寒

十時十時内山ノ城氏平坊預リノ納金室ノ室
巻物及宗匠贊ノ仙重ヲ午後ス
丁時羊止社ノ矢ノ莊司ト會シテ
午後一時製錢会社ノ保会先期ノ決算書
類ヲ主出株主ノ承認ヲ得タリ
四時ヨリ五時羊止製錢会社ノ主多リ夫ヨリ
針山惣店合ノ催メカニ朝日製錢合ノ格
ノ格ニ添余ノ手金田中ノ主多リ九時帰
宅ス
中元善道午起ヲ更リ

(五四治明)テ着歸丸南間の隊檢探極南 (二九七一)命革大國佛

178

夏月
甲午

日三十二月六

月五甲未己
日五十二

陰 陽		陰 陽		氣天 肺 暖寒
陰	陽	陰	陽	
朝六時三十分着帷及之電事、下山十一時五十分去社 三時海上大工係院ノ修時、夜會アリ、未上各務子ヨリノ授、未、対シテ沢又矢ッ、園、木、成ヲ、レテ各務子ノ意、命ヲ、確、ハ、事、トス 午後五時、坂、塾、座、上、京、中、ノ、振、野、石、余、ヲ、正、方、ト、シ、三、宅、川、表、木、若、林、ヲ、拓、キ、テ、其、後、我、十一時、退、席、ト、ス 陰、雅、及、之、隆、シ、金、四、百、圓、ヲ、小、林、孝、太、郎、殿、ト、シ、テ、大、工、太、部、殿、ト、セ、マ、				大工太部殿トシテ

(七十二治明) 鎮古津天軍合縣國各

181

月五甲未己
日五十二

日二十二月六

至夏

夏月
乙未

陰 陽		陰 陽		氣天 暑ハ雨 暖寒
陰	陽	陰	陽	
朝未、雷、行、頗、ル、ア、マ、シ、ク、九、時、頃、ヨリ、ホ、ッ、ホ、ッ、ト、降、リ、初、メ、午、後、二、時、頃、ヨリ、全、リ、暴、風、雨、ト、セ、テ、晴、未、夕、全、ク、ス、頗、ル、飢、雨、進、義、ス、加、フル、右、面、ノ、解、至、痛、ノ、カ、メ、初、メ、テ、午、睡、ヲ、ト、レ、リ、此、日、大、工、建、具、堂、任、師、堂、等、建、具、成、信、者、ノ、若、テ、ノ、沢、沢、タ、出、フ、夜、分、合、會、者、人、小、生、テ、太、ウ、カ、レ、リ、夜、半、ト、三、時、テ、瓜、斬、リ、釋、ス、ル				大工太部殿トシテ

180

(八二治明) 縣問府督總河臺

情久地回

日五十二月六

己未年四月五日
二十八日

0.5 2.0

介紹 書目

天氣

世云雨

暖寒

三

古今圖書集成

社會の今日

十一時製錢合社と申。此午後針考合社ノ
事留テ視ル
松本丹三郎ヲ来社村田萬一氏ノ件ハ不決アリ
リ因延テ托ス
午後五時ヨリ倉田武市西宮丰匠職ハナテ
ノ武田留待ノ意ハ常盤ノ様ニ主人一川バカリナ
服被スル処アリ来会者約五十名九時半匠
散
此日中元待別手札ヲ交リ

(二治明)る作を族士し定改を祿藩事知

183

月五朔未巳
日七申二

日四十二月六

「醒火」
木丁

05 20

108 109

天為

冲

暖寒

66

三

十時羊古社
午後九時羊 剏屋、後ニ二宗中ノ剏衣紙ニ燒
炭及書之ノ入ニ、田舎事留ヲ駛走ス、所
主人、桐島、大山^ノ並重役モ亦出席セル十一
時漸リ會々々微ス
此日造船會社ノ孫会アリ

182

(五正大) ふ賜な號稱の帥元に發正内寺 (五祿永) る生正清藤加

六 月 二 十 七 日

己未年 十月五日

魚天
善衣而
暖寒

漢記

十(時)朝衣、銭会社、出社、午餐後、針葉会社、
車で帰ル

幸勿視之

午後六時三リ 永代村 明日 李 銀行 社宅ニ井上
木村 而 德哉ノ 招宴ニ 此ノ 山平 廣高 乃 大庄ヲ 主
賓トシ 次賓 大倉春古河 高村 三男 齋村 岡
馬越 每船別 社宅 村 本 内 藤 西 石 社 社 長 草
未 定 乃 三 十 名 小 倉 春 々 々 一 人 一 人 梅 各 工 平
ヲ 相 九 時 退 散

(五一治明)布公例條行鎮本日 (五政寬)才數居郎九彦山高

日六十二月六

月五閏未巳
日九十二

天氣
雨
寒暖

三

十時止社
午後一時三十分針葉會社ノ總會ニ於テ前年
期ノ決着報告ヲ為シ株主ノ義返ヲ得タリ
午後五時ヨリ三宅川、春木、西代ヨリ返リ決トシ
テ三河屋ニ於ケル暮我會スル者外ニ梅野
石原、若林十一時迄迄此席ヲ終ルニ上リ
午後六時ヨリ三宅川、春木、西代ヨリ返リ決トシ
針葉會社ノ總會ニ於テ前年ノ決着報告ヲ為シ株主ノ義返ヲ得タリ
午後五時ヨリ三宅川、春木、西代ヨリ返リ決トシ
テ三河屋ニ於ケル暮我會スル者外ニ梅野
石原、若林十一時迄迄此席ヲ終ルニ上リ

(三正大) す表公を末瀬涉交米目るす關に案法地土州加

大風
曇
晴寒

陰	陽
陰	陽

本朝、金次、日本銀行、主、夜、校、抄
ト、井上、木村、西、徳、載、カ、レ、名、刺、ヲ、置、キ、十
時、半、迄、社
知、者、銭、金、社、三、三、三、川、常、務、ト、モ、松、田、六、三、事
ノ、意、見、ヲ、聽、取、シ、松、本、健、次、郎、氏、ヨリ、三、宅
川、通、商、会、セ、カ、ル、若、松、に、米、港、ノ、開、ス、ル、祖、同
知、事、一、授、業、ノ、井、上、賛、成、准、致、上、リ、込、テ
セ、レ、ル、事、ト、ス
五、時、迄、本、降、シ、本、田、氏、ヨリ、明、朝、廿、九、日、
ア、リ、キ、ヤ、リ、内、ニ、シ、テ、ウ、ラ、リ
反、正、博、士、危、馬、ノ、報、ヲ、ウ、ラ、リ
夜、合、事、ト、モ、敬、来、金、次、美、介、ノ、全、快、校、抄、
本、朝、人、ス、希、徳、盛、(京)、水、金、(ト、部、所)、其、他、開、番
若、十、ノ、端、ヲ

大風
晴
晴寒

陰	陽
陰	陽

今朝、金次、日本銀行、主、夜、校、抄
ト、井上、木村、西、徳、載、カ、レ、名、刺、ヲ、置、キ、十
時、半、迄、社
知、者、銭、金、社、三、三、三、川、常、務、ト、モ、松、田、六、三、事
ノ、意、見、ヲ、聽、取、シ、松、本、健、次、郎、氏、ヨリ、三、宅
川、通、商、会、セ、カ、ル、若、松、に、米、港、ノ、開、ス、ル、祖、同
知、事、一、授、業、ノ、井、上、賛、成、准、致、上、リ、込、テ
セ、レ、ル、事、ト、ス
五、時、迄、本、降、シ、本、田、氏、ヨリ、明、朝、廿、九、日、
ア、リ、キ、ヤ、リ、内、ニ、シ、テ、ウ、ラ、リ
反、正、博、士、危、馬、ノ、報、ヲ、ウ、ラ、リ
夜、合、事、ト、モ、敬、来、金、次、美、介、ノ、全、快、校、抄、
本、朝、人、ス、希、徳、盛、(京)、水、金、(ト、部、所)、其、他、開、番
若、十、ノ、端、ヲ

此日公王和成立設久當日ニ銀行会ニ一俵
 此書也リハ殺生ヲ四ノ義ヲ著シ書面
 李自十時至中國ホニハ市長ヨリ彼等ノ書面
 田田名ニ素美ノ適至善ナリ等ノ座ナカ
 又貝金也引ニ新刊書靜養處也也ニ許ス
 夜介系田其大郎子ヲ訪ヒ其若我達數十
 二時ノ前瑞定ニ泊ル國ノ聯合会ノ員
 市井ニ書面煙火ノ音夕ハ夜介ハ提燈ヲ吊
 ニテ夜中ノ身人ノ手ヲ入ヘ其書ニ括弧良好様
 合社設立ノ聯合會ホニ一列ヲ王無ス
 市井ニ書面ニシテ久索ノ持家ヲ名調受降ノ
 使用ノ王無美ス
 市井ニ書面ニシテ久索ノ持家ヲ名調受降ノ

(八九八一) 寸借租办衙海威國英 (六三治明) 式園開園公谷比日

天氣
雨

昭實

朝八時より十時前後大夕飯、技師土田武次来りて新入精拙、件々一身、都合ありて許フル如アリ午後二時来社ス可キ方ヲ告ケテ社スニ到ル錢會社ノ事皆見ル
七月一日より以テ事皆久（分業）ノ内大ニ実行ス鮮傭非族物カ十八人名
上田武次来社ニ隊成ニ面談セシム決分鮮在外ナカルヲシトノ事ナリ
五時節々金途次而降ルニハナト金年々ハノ金飲川
外一名町田忠徳氏ノ名刺ヲ以テ石炭山ノ件ニ付来訪而三日ノ中室招代ニ面談セシム可キ方ヲ招レテ歸ス

(五長慶)る入に城戸江康家川徳 (三元延)す死戦貞義田新

191

時

時

四時半迄
九時半迄
令殿地所ノ場知入れ
ノ件ハ未定ニ先キ九
石面ハ行カリモアノ整
富キモ夫レ以テラハ只合
スルモ未レテ坪数ハ九千

早朝室松キヲ買ミリバンコックハウ井レゴックスノメデ
カフシギ是非今日中ニ面会シタキ旨取決レ来リシ
ルモ其用向ハ大停業ノ事ナリ差答キ面会ノ必
要ヲ認サハナリ方テ電話ニテ依頼ス
朝九時高橋係員等華達紙廠ノ模様
報告ノ為未訪ニ時製紙会社ノ出方キ時
カキツタリ再ニ面談ヲ略シ来リシモ午後九時
室役会ノ令成八月支那ヨリ神戸京ノ上ニスナキ
ヨリ電話ニテ應答ス
一時社長面談早川水電株主万内呈テガキリ
麦ノ事ヲ決シニ答テヨリテ之レヨリ在田成ニ面セシ
合時社長メテカフ成ヨリ送り来リ九日集ル事
様式会社支取ノ事ナリ決ス
二時九ヶ嶺針室役会ニ出方ノ序リ以テ買回金
三ヶ嶺ト銀山面談面談道敷役共金事平順決ス

時

時

此朝サイバリーア九米園ヨリ枝渡着江口定保氏
婦朝十時中安停業場ノ之細フ
十時久桑房ノ助氏未訪
二時津ノ造船知ノ地ニ夫ナキ米園出成ノ為上京
未訪
九時半出成船知松村毫太郎ト未訪
二時半大工池田存方来ル
夜合元ノ市生上上海ヨリ上京来セ

所	陰	陽
暖寒		
朝十時	古河	見し
午後三時	古河	見し
和祝福	古河	見し
而中	古河	見し
師送	古河	見し
暗	古河	見し
噫	古河	見し
歳	古河	見し
譯	古河	見し

(七一治明) む定な制の替五の男子伯侯公に族華

大時

大時

所	陰	陽
暖寒		
朝十時	古河	見し
午後三時	古河	見し
和祝福	古河	見し
而中	古河	見し
師送	古河	見し
暗	古河	見し
噫	古河	見し
歳	古河	見し
譯	古河	見し

(八三治明) り領占なフコサコ軍我

朝九時重山室月子来り箱振新糸匠
 涉模様一付迄ス如アリ
 上時制銭金付也社々登後針業会
 社々附リ見
 一時事以氏令道社々室而会々何々意
 見、付陳述ス如リ此際廿三午月
 令セセウヒツテ勸メスモ今朝三井二樓
 百圓増資発表スル迄テ中一入レス而モ
 何々基キ余地下バ兩考ヲ求メラレシトモ
 一々免々角事因、於テ用ヒ下僚ノ意見ヲ
 夕八上々所、話シスルトス
 四時半辰ト
 夜合大工池田来ル銀二石代ミ於四同会々托ル
 ミ於月トス

朝九時自御車部何々冷水とルメーとあ没
 ノ件、付中島水道板牛板抄、本ル
 十一時制銭金付也社々室而会々何々意
 見、付陳述ス如リ此際廿三午月
 令セセウヒツテ勸メスモ今朝三井二樓
 百圓増資発表スル迄テ中一入レス而モ
 何々基キ余地下バ兩考ヲ求メラレシトモ
 一々免々角事因、於テ用ヒ下僚ノ意見ヲ
 夕八上々所、話シスルトス
 四時半辰ト
 夜合大工池田来ル銀二石代ミ於四同会々托ル
 ミ於月トス

〔鹽木〕
平庭

○ 七 十 月 七

月六日 未三
日十 三

十月十八日

金
木

晴

暖寒

記

箱振連米匠師屋襖云々金四百計松岡早印
子以二井竹松云々又印

午、以二井、村松、吉、文、五、

十一時製錢會社、出動午後新井草會江

西時ヨリ北尾川母人ノ知ル所キ其印及讀金石

老人小意園地六午商梯云

何事也秋之樂事也

はたらぬものとてまをさす素人の

今日有臨宋の北庭より北に心續りすを時刻
傳へるを會合やう。

無
二

暖寒

三

十一時止
午後
散錢

田舎より田舎まで、
民を招き、
金、
衣、
食、
給ふ、
行り

茶室并床、板下障、意花が也、
匣甚名三宅川

東田、美奈、木村、林、次郎、氏、全席、十世、錦、七

金匱兩降丸

(二正大) ろらへ加に目祭祝な日祝節長天 (四治明) 置設省部交 207

206 (五四同) るさ表發例不御皇天治明 (元治明) す稱改と京東を戸江

月六日未巳
日三十二

02

0.5 1.0

年五

注 日下

暖寒

朝九時龜山千本訪明夕立返りて箱根
より歸りたり建久屋新美清光ノ請亦
ぬ見候方今又候し午工ウヤム事トス
時ト木工池田ノ好し請亦在り仁松六
儀共ハ共ヘサル事ヲ時々ケム
午後二時より苗見ノ散策シ工場ノ様
様ニ見入リテ歸ル

(五正大) く開に軒養精野上を會賀祝約協露日

209

月 六 日 未 巳
日 二 十 二

壬壬

0-3

100 100

备干

卷之四

天時驅邪寒暖

今朝奉養正長、六念道箱板、封り今所七勅
朝針葉手後智、致
午後五時、金田守、行十甚、致、十好羊、終七

九時五十分

(○四治明) 位讓帝皇國韓 (九九八一) る終争戰西米

208

月六日 未巳
日五十三

天煎

晴

暖寒

朝九時至下介出社、余吹上二萬町、米井原次郎氏、下介、主事、十時造心合社、室役合次、浅野、金子嘉代、太成吉乃、針山賣却、室役、旨、以、未訪、一件書、贈、調査課、今仁、度、若林、澤、其、趣、以、付、へ、ム、久、倉、有、為、件、介、キ、本、社、共、別、炭、取、開始、付、炭、取、取、付、依頼、了、能、見、成、ト、計、リ、井、金、穀、部、氏、由、條、セ、ム、事、ト、モ、事、夜、五、時、下、歸、下、大、和、銀、一、万、十、町、神、宅、弄、炭、二、時、至、十、萬、町、炭、事、一、箱、根、一、支、力、六、百、五、十、町、母、特、別、方、氏、托、込

源賴家征夷大將軍とある（建仁二）

211

用土

臘月
成 44

瓶天

晴

暖寒

十時出納
後、御錢をヤラシハイ、仕掛セテ、事ヲ
三十五百四斗補助依飲アリ。考へ置リ、サキハ
廿二三日未済スルナリ。物入之トウ報低ノ由原
に謀ル、今如ク便利ノ類似ノモノ其後采面
白カズト一々手アリ

二城ノ津田 氏御持付恒金金山松下願
ニ成ル件ト本社

午後四時半居川ノ赴キ母ニ七万五千三百七十八
三月七拾八圓（此は腰違下ニ直帳より引サレ）ナキ
度し更ニ白金三リ母ノためニお金と云ヒ金五十六百
力林岡（西中松月ハサストモ家ヨリ引き名方）ナリ母ヨリ支
取ル（母ノ豫キ金銀三三三）七拾半（母ノ）
午後八時再々門送ハナシ去ル為メ箱振ナリ

210

(元仁建) 寂覺文僧

(六永嘉) く築を臺砲に灣川品府蘇

月六日未巳
日七十三

0715

213

(七三治明) す嗣を族関し任委に君院大を務政王韓

【墨水】
子内

暖寒

212 (五一治明) ふ 襲 を 館 使 公 我 徒 暴 の 鮮 朝

晴

暖寒

十一時製鉄会社去勅午後五時五十九分迄
針葉会社、車房、視ル、今時東京驛迄
箱根、参り、針橋驛参り、佐田、政輔、会伴
七時十分、登、四、雄、新、京、身、迫、り、乗、快、云
フ、カ、ミ、羊、夜、迄、後、リ、ツ、キ、タ、リ

晴

暖寒

無天

晴

暖寒

朝五時起床、普清、瑞ノ、様、様、ヲ、視、ル、大、体、ハ
整、頓、シ、タ、モ、衣、門、未、タ、エ、羊、ヤ、リ
ナ、時、頃、ヨ、リ、青、天、政、輔、正、夜、今、道、早、電、山、麓
迄、敷、来、ス、政、輔、正、夜、ハ、早、電、山、頂、ハ、必、ズ、リ、二、人、ハ
合、シ、下、山、途、次、針、葉、中、一、政、殿、正、行、氏、ノ、別、荘
ヨ、リ、上、ル、時、頃、参、リ、一、時、頃、参、来、ル
政、輔、正、夜、ハ、冬、山、ノ、後、太、湖、邊、ハ、正、四、シ、五、時、頃
館、在、リ、テ、數、分、示、サ、レ、テ、駈、向、リ、西、人、共、ツ
フ、濡、シ、テ、参、リ、来、レ、リ
夜、介、カ、田、京、電、氣、ノ
或、全、治

展廳

十七日

己未年閏七月
朔日

天氣晴

6 暖寒

朝ノ内政輔正度ハ必ス下ニ赴ケリ江蘇ハ尚
朝食前早雲山麓新ノ地視参云

朝食前早雲山麓新開地裡云々

ト其ノ塾ナリ

午後一時四十分、電車より江輔全道下山竹橋

子政輔列六時東京驛省直云興ノ

自卸車、
剝皮、
衣服、
着考へ宴席

列主賓、此中島（正武村佐才二師團長）兩中

將出村林廨院裏久候主人側小茅軒

主人江島振倉事田及金ナリ由以愛之

三十八年 十月 癸亥

此日銀錢一僱便本年入社者山田甚多山水涸竭

于湖先生集卷之五
通鑑紀事本末
破賊報捷

ス

社會の今日

卷之六

天無
晴

障雲

朝十時也社

雙田金三郎十兩銀錢首癸亥件、年去願書

及汶斗書持參全書類
卷三
定州氏
後不

該改計畫中除路外其餘各工程均不在此限

交際者方異は、
異し交トナリ

四時羊乳飲仁

夜分原田芳太郎氏より松本基成

卷之六

十月二十七日

二月
己卯

05 25

(三正大) ず 戦 宣 に ナ ビ ル セ 國 洪 塊

(元治明) 位 卽 御 皇 天 治 明

聖皇天始明 三

十月三十日

月七 日 未 巳
日 四

魚天

五

暖寒

記

王念孫

十廿四日 朝康し多り丸王 銀田氏ヨリ 方城を
取不獲ノ 電告ヲヤル 後 翌一山ヲ至セシガ
為メナリ

本日ハ明治天皇ニ奉
 聖天子ノ上天ヨリ已ニ八年
 恩ニお多キニ重橋外臣氏ノサ
 子念ヲ祈リ久
 有様而眼前ノ下リ雨ハ菲々
 今昔ノ感々堪
 ヘス
 午後余田村太郎氏ヲ招キ
 暮氏令公達散
 西ヒ三目ノ下リ

(七二同) る 陷を由牙軍我 (五四治明) 御崩皇天治明

219

月七 國米 已

日九十二月七

厚火
午丑

天氣

三

6 暖寒	6 暖寒
------	------

三

社會の今日

日衣三、大兩十二時、朝錢會社、と
 今朝、又田氏より、朝金を、其終、云、續、
 訂正して、如、ト、文、
 主、
 治、
 社長より、室、
 移して、思、
 午後、
 以下、
 実、
 物、
 及海軍、
 子、
 興、
 今、
 十、
 散、
 會、
 又、

218

(三承治) す莞盛重平 (七二治明) 役の山牙歆成

曜日
食下

三 月 八

己未年閏七月
八日

無天

三

暖寒

三

子後二時、后田才太、即武ヲ招キテ、其名戰久保、録
七、武神ノリ、上京来、訪相共、一戰、フニ時、演辭シ
テ、終ハ

224

(四喜天) 役の年九前 (三正大) す戦宣し對に國佛逸獨

日 四 月 八

月七 日 未 巳

新天

以年

呼吸

三

子前時社

西経、銭道ノ件、丹笑回金三部、又ヲ招キ明日
 ヲリ休職旅行、午後幸テ三宅川百太郎氏ニ托
 シ、名ノ有ラザル、明日乗船、川上理幸、金道三宅川
 谷ト会見セシムル事トス
 濱田氏、内務船長ヲ智銭会社ノ取締役トシ、概
 概シ、或ルハ手頭ハ会成責任ヲ收テ、知理スル事、
 武田氏、乃会長、金部ニ依、其美諾ヲ得、夕
 リ依テ取締役、丹任ノ午後、テ三宅川氏ニ依、候ス
 三宅川、表木、而、或ノ言葉、内ニ、亦、及、勸、度、赴、キ
 甚、我、後、ニ、凡、環、シ、十一、時、帰、宅

葛城樓上風涼十二時歸宅

卷之四

1

11) 3. 11

四月

子戊

0.05

142

(二三治明) す許か居領地内の人外 (三正大) す戦宜に違獨に共英佛

225

晴

晴

晴

昨夜より風強し吹雪今腰布も夕不止七時
三十分より汽車に蒲根の古谷十二時公知着
所吹雪より物スカシ三時頃漸く風静まり
諸人清々未だ訪陣地ノ假言ハ不日着午弁
シト禮アリ
手月清リ神々天候ナリ

晴

晴

晴

晴

朝五時半分、電車より師人出迎、乃正茂全伴下
山、李、白、電車、國、右、津、七、時、五、分、着、師
其大、政、業、上、迎、湯、車、近、自、師、車、夫、り、電、車、に、登、山
別、在、入、一、行、ハ、仕、健、ル、ウ、モ、ナ、

村上給田、長、政、長、麻、生、ノ、針、已、重、却、ノ、件、今、能、一、登、皇
山、後、明、ス、知、リ、急、回、シ、降、梅、ス、ハ、針、已、ハ、無、降、考、方
其、事、以、テ、後、夕、明、日、皇、校、会、自、合、ノ、事、見、テ、少
後、四、時、分、キ、電、車、に、下、山
針、已、物、三、百、五、年

台有茂皇伯斗千三百万也

晴

晴

昨夜より風強し吹雪今腰布も夕不止七時
三十分より汽車に蒲根の古谷十二時公知着
所吹雪より物スカシ三時頃漸く風静まり
諸人清々未だ訪陣地ノ假言ハ不日着午弁
シト禮アリ
手月清リ神々天候ナリ

日一十月八

日 未 開 七 月

15

晴

喉寒

三

夜分(全打建)早雲山(下)散步月見可ナ
ス

讀書無功，玉成教字，月見心不。

(九一治明) す定制を則規人證公法記登

232

氣天

卷五

暖寒

230

日 二 十 月 八

大正 月 滿
丙 申 金十四時二前午

08

0.5

午後二時ヨリ自御車ヲ起リ一全ヲ乗セ長生時
ハトニシルヲ取ヘバ牧場ニ来金次サノ相ヲ取
下ス知長生峠ノ茶店ノ當テノ金隔テ見テ知
ハ景取他迄ニ及バズバ牧場ニ宿生ニ休忽一
時刻ハヨリテ御金ニ代リ跪自御車ノハナク
スハ、無ニバ牧場ノ自御車ヲ往ヒ来リテ斷ク
後歩ノ程ヲ取ルニテテ終タリ六時市左
端月皎々青天ニ懸レリ夜半頃サスニテ
席ヌ

金、銀の改を購ふべし

翠堂より三月のツヤをて金とまゐる
あゝあゝ

(三正大) す 戦 宣 に 國 洪 埃 國 佛

233

天氣
晴
天
後
雨
暖寒

跋

臨 愛	臨 愛
-----	-----

FINISH

士家合四

天氣
雨
寒暖

冬日靜養

陽木
 戌戌

日 四 十 月 八

月七日未巳
日九十

086

能 效

朝八時行六人二旅爲部以次大湯共噴泉

う訪子下へ焼ナリ、盆泉ヲ整テ相成ニ去リ、焼ナリ
 二人剪ヤ赤禪ニテ湯肝ノウタハルヲ受タリ、湖成ニ
 小升ヲ底ニ湖水ヲ攪訖ニテ元箱板ノ橋幸寺着
 ン、又ハテ後一軒下リ（丹後善達二月ハ又北田平ノ出タ
 全知ニテ中人民湖上ノ凡差ヲ更ス、二時羊人ノ如
 奈箱板權坂ノ参詣シ小防吉命ヲ登リヨリ而
 強ク降リ、霧立ニモタリ、仰々其大ハ橋ノ幸寺余
 及吾人ハ正堂ハ彼寺ナリ、正度ニモ建脚下駄
 ヲハテ降リ行カセシ衣襟、冬ク極フ、余等三人ハ
 小防吉ノ倅由知ニ下リ、正夜ハ霧ノ無ニテ、端ハ電
 車ノ登レタル为大湊置ニ着スルハ正夜ハ心ニ也、テ店
 トリ
 庚午酉冬ニ月ヲハルム雲荒ニ映テ、水ヲ紅ヲ見ル

月七 日未 己
日一 十 二

[illegible]

(七三治明) る入に順旅佐少岡山使軍

237

金全
衣已

[illegible]

236 (九六七一) る生世一ンオレボナ (一一治明) す稱と道海北を夷銀

(九六七一)

(一一治明)

晴

暖寒

陰 雲

十時止社造船会社ノ皇校会ノ列ス住友ノ
 中田錦吉氏大庄氏合道本坊鈴木氏ヨリ三六
 八番戦守待参打合ス知リ
 三六八番ノ空ヲ蓋世深奥井氏ノ四ノ
 午後製鐵会社ノ世辭我道ノ係ハ恒ニ
 三安川、飛田、西氏ヨリ明朝支田氏東橋人
 貝睡手本坊ト手ナリ
 子ッ工業ノ係ハ新島又店植松氏ノ本堂又
 ヲ入ル
 品出役金田氏ノ合食ナリ羊錦宅
 師、其大ノ正米六時半ノ浅車ヲ箱板ヨリ入
 京来内

晴

暖寒

陰 雲

秋見市芳北澤氏ノ
ナキタナリ

師、本内氏到床後師内ノ案内シ十時半止
 師一行ハ、其時四十分ノ浅車ヲ日亮ノ車
 井上連六氏石川一氏合展ト増物ノ氏トシテ
 而ル各別ノ三點經市ノ券(二十四)ヲ賜ル
 新島植松氏(原庄氏)バチニストノ係ハ其地
 係ハ金権番任ヨリ社長ノ氏ノ指図方ヲ實
 行氏、金ヲ併マテ其方ヲ三井ノ牧田氏付ヘシ住
 友(モ者方入費ノ方ヲ送ラヌトヤリ
 西洋飲道ノ用シ人見氏ト合見氏果ノ東松側
 ノ三八番ノ、ナリ、スリヤカ又ハ、斗人ハナリ、スリヤカ
 ナ、其見ノ一致ヨリヲ以テ、又、又方ヲ、同重ヤ
 ナリ、タリト、詔ヲ三安川氏ヨリナリ
 貝島學部部氏洋行氏ノ別ノ一行并ノ僕次
 太市ノ和氏ヲ平三氏ヨリ、其内ス

晴

暖寒

朝九時、前夜電話ノ音、貝島健次氏来訪、
相和、談玩、良島、京江、子貝島、針葉会社ノ
取締役、板垣良トシ、貫父、及、板垣アリ、本人
ノ、京江、子、確メ、タ、上、何、分、ノ、返、答、ス、キ、ヲ、答、ヘ、十、分
ノ、中、社、島、島、ト、上、京、江、ノ、人、下、ス
子、及、父、板、島、氏、ヨリ、板、垣、会、ノ、カ、ル、日、ノ、恒、込、ヲ
ダ、ク、恒、川、ト、不、違、ノ、清、神、是、也、洪、保、五、一、大、同、前、進、
四、女、理、事、ト、一、板、垣、阿、子、五、本、田、氏、一、并、一、而、外、一、
名、ヨ、ハ、板、垣、幸、一、也、一、可、キ、ホ、ト、リ、タ、リ、ト、
午後一時、今期、折、合、ヤ、一、板、内、海、軍、次、官、ヲ、本、省、
ニ、訪、問、北、岸、太、孤、遺、候、葉、(外、タ、三、者、日、月、恒、込、太、孤、遺、葉、)
ノ、便、宜、ヲ、照、シ、タ、ル、ヲ、謝、シ、今、昨、昨、太、孤、遺、葉、一、年、ノ、徒、
来、ノ、行、動、ヲ、陳、述、シ、何、平、ノ、技、術、ヲ、求、ム、公、氏、モ、大、
公、情、ヲ、以、テ、便、宜、ヲ、計、ル、ヲ、一、而、セ、リ、而、軍、部、心、二、
三、
諸、君、小、姓、自、切、成、(海、軍、大、佐、)ニ、モ、返、答、ノ、最、後、板、垣、氏、
来、田、氏、一、部、平、ル、セ、リ、テ、終、治、セ、レ、ム

晴

暖寒

三、所、部、役、合、格、主、要、
リ、江、河、子、分、部、役、合、格、
ト、テ、リ、上、何、分、ノ、返、答、
ス、キ、ヲ、答、ヘ、十、分
ノ、中、社、島、島、ト、上、京、江、ノ、人、下、ス
子、及、父、板、島、氏、ヨリ、板、垣、会、ノ、カ、ル、日、ノ、恒、込、ヲ
ダ、ク、恒、川、ト、不、違、ノ、清、神、是、也、洪、保、五、一、大、同、前、進、
四、女、理、事、ト、一、板、垣、阿、子、五、本、田、氏、一、并、一、而、外、一、
名、ヨ、ハ、板、垣、幸、一、也、一、可、キ、ホ、ト、リ、タ、リ、ト、
午後一時、今期、折、合、ヤ、一、板、内、海、軍、次、官、ヲ、本、省、
ニ、訪、問、北、岸、太、孤、遺、候、葉、(外、タ、三、者、日、月、恒、込、太、孤、遺、葉、)
ノ、便、宜、ヲ、照、シ、タ、ル、ヲ、謝、シ、今、昨、昨、太、孤、遺、葉、一、年、ノ、徒、
来、ノ、行、動、ヲ、陳、述、シ、何、平、ノ、技、術、ヲ、求、ム、公、氏、モ、大、
公、情、ヲ、以、テ、便、宜、ヲ、計、ル、ヲ、一、而、セ、リ、而、軍、部、心、二、
三、
諸、君、小、姓、自、切、成、(海、軍、大、佐、)ニ、モ、返、答、ノ、最、後、板、垣、氏、

245

社會の今日

244 (四九八元紀朝本) す卒明孔葛諸 (三正大) る降勅詔の戦宣獨日

四十分

！氣天

晴

675

記

朝九時に本邸一行お参り申上り、又生
ル正交ハ、義介ノ托ニテ、横濱に又上り

三時分業会社ノ事務所より製衣會社

人壽及...

五明三行
五明三行
五明三行

月七 題曰未己
日 三

08 想

08 環

天鑑

晴

暖寒	二
----	---

昨夜ヨリ甚痛あり、乃、頼むよし、リ、ト時、去社、呼、當
こり、高島相和、貴、取、長、上、示、貝、島、針、葉、集、会、社、ヨリ、中、交
か、立、置、三、ノ、年、へ、本、人、ノ、子、白、ヲ、記、ス、一、月、勤、ネ、リ、上、五、年、
ス、一、ト、元、

十時半麻生木志成未仕到底矢方ヨリ知古ステナサキ
薩メタルコソテ熊手詮候ノ上東月十日前後迄ハ
方ノ向テ傳フル事トシ今成一矢リ掃ルノトモ
午後三時御飯合仕立立齊リ九時掃完

【附方】
食中

月七 題曰未己
日 三

0.25 型

八五 六五

新大

晴

暖寒

朝九時麻生太吉と未所餘田炭坑ハ薛梅シタル
今ハ針區約三百ハ坪賣却ノ件ノ關スル方ハ先方
ミ任殿ヲ却テサシメントシ矢方ハ此方ニ對向ヲナカントシ
ヨリ向合ステ決ス中敵ヲ御食シキ後一時双方都方
ヲ約シテ別ル

午後二時ハ社敵場且時辰止

吾田亦門ハ更者自今迄ノ方ヲ以テ希典杯同ヲ
シヨル

晴

暖

十二時止

即ち電燈を点け、打上総田産の良着品を、
 幸のち、総田産の利益表を、
 見ると、麻生年、
 今朝梅野、
 京ス
 夕利美介、
 五時止

晴

暖

十二時止

朝十時半、
 夕利美介、
 五時止
 即ち電燈を点け、
 幸のち、
 見ると、
 今朝梅野、
 京ス
 夕利美介、
 五時止

氣天

晴

暖寒

三時方去初
室極中場開電帳

十時半去社

午後二時より松野、三つ川、妻木、各室役ト
製鉄会核創改革、年々番談ス
河野、本下、敷殿より雜誌位交、保即ト
（要三折）明日金卦百圓ヲ股物スルヲ
但而後ハ何事ノ補助ヲ額トスルニ在也
五時退去
細料銭以整理長久保より出陣、具休ハ
輕佛、安神アリクキヨシ電了

氣天

晴

暖寒

九時半去社、新業会社、事並、皆ヲ視ル
河野、来吉、金卦百圓ヲ給與ス
午後一時半、赤美ト共ニ箱取、至リ、園内、渠
湯本、岡白、偏車、九時半、池田、健、右、門内、庭園
面白キ、新メ、學、付、理人、己ヲ、失、念、セ、メ、タ、リ
以テ、堅、壯、願、ハ、ス、事、ナリ

月七 閏閏未己

氣天

晴

暖寒

明日令様植木屋ヲ相午ニ送レタリ
是令道官賊野小林老太郎云、植木、陰
六牙數金一行リ

(元治明) 城 落 津 會 275

275

岸 彼

子·肉

無天

晴

暖寒

昨日庭園に紫雲^{ムラサキクモ}ヲ遊視し夜分黄菊^{キキョウ}を採
りて夕ハノにて
庭に花を植へても去りやらぬ思ふを
よふ人よきい來もかな

274 (明治二〇) 横濱水道工式を舉ぐ

274

分秋 月八日 未巳

188 254

03 2014

氣天

兩

暖寒

時々而降^{レリ}午前拾^ニキ李ヲ索ノ煙振^ニ治
ヒ植加ヘタリ午後ハ雨ヲ冒^{シテ}拾ノ塲リヲコシ^ニ臥
ク(花不全ナリ)
午後四時半降雨ヲツキ下山七時十分國府津
必^ニ義車^ニテ歸來九時半退^リ終^ル

(○一治明) す 歿 戦 に 山 城 下 以 盛 隆 郷 西

277

目 社

大 成

瓶天

瓶天

晴

暖寒

壽、美、子、前、中、也、無、植、木、室、子、伴、に、草、花、科、樹、
 木、樹、々、々、
 鳥、勝、侯、人、夫、後、又、本、日、直、一、分、三、松、九、座、七、松、斗、
 我、う、又、松、う、内、四、座、七、松、う、我、甚、箱、代、美、り、
 来、う、地、振、う、太、十、松、二、本、う、植、工、又、三、丈、八、
 座、

(七一治明)る起件事山波加(三保天)す歿陽山頼

276

無天

晴

暖寒

朝十時之勤 分業会社ノ定期重役会バ、

十一時駿河台ノ松キヨウ会館、赴リ先日相決
ノ件ハ私見ヲ陳述ス 社長ハ辭意ヲ取次ヤレタ
レハ事ナリ 其方途ノ穩當ナルヲキテ賛成シ
自合座身其ハ意ヲ通スル事トス

抑共勸銀別添裁(ヤニヤ成)代用食料研究
身久存ノ高附依頼ノ件ハ自平社

六時郵船須田利信成ニリ 拓アレ三井ノ福井米

三ヶ南条

三ヶ南条 三ヶ南条ノ新期ノ歡迎ノ意ハ

山口ノ列席ス九時半終電

永ラリ(神ノ新お座)奉公シ馬ノ名石若久

亦事ノ都合ニテ神ハ神ハ自毒美東京驛

ハ見送ル先夜永年勤勞ノ謝儀トシテ信金旅

号ノ外ハ金奉百圓ヲ當ル

辰庚

無天

晴

暖寒

朝十時出物

午後二時ハ他国ニ本訪樺太分業会社重役会
同成立進件ノ件ハ自分ニ重役ヲ撰出スル程度

ト参加ヲ必要トスルノ趣意ヲおハ併セテ三ヶ南条
ノ外ハ自毒美東京驛

午後二時ハ他国ニ重役会ヲ(ヤニヤ成)代用食料研究
身久存ノ高附依頼ノ件ハ自平社

知急業ノ成シ職工ノ修ムキ待遇ノ更改ハ其意
成スル(ヤニヤ成)代用食料研究

ト撰出スルノ件ハ自分ニ重役ヲ撰出スル程度
ト参加ヲ必要トスルノ趣意ヲおハ併セテ三ヶ南条

ト撰出スルノ件ハ自分ニ重役ヲ撰出スル程度
ト参加ヲ必要トスルノ趣意ヲおハ併セテ三ヶ南条

夜令八時ハ自分ニ重役ヲ撰出スル程度
ト参加ヲ必要トスルノ趣意ヲおハ併セテ三ヶ南条

日九十二月九

己未年八月八日

九月三十日

火 乙

晴

暖室

72

三

土時五助製錢 金仕^ニ多^クアリ^ハ成^ル長^キ云^ハ梓^ノ
 匠^ノ愛^シ報^ヲ接^シ午^ノ後^ニ重^ク柏^ノ氏^ト訂^ス合^セ金^ハ代^リ
 電^報始^メ了^スト^ス

二昨羊毛利五郎男減錢北苗 錢道敷件、付本
訪目希貝書ヲ、コレ圓面ナシト送付セリ、季ノ如

五時歸宅 夜有妻笑令道 散不來久

天無

晴

暖寒

十時出

梅田芳松氏、雪根忠兵衛、麦久保益武氏、
防者久保ハ三合公司委託ノコト(百エーハ)ヲ
三万エーハ半撥成ノ件議シテリ 四日、宴会ニテ高
次スハキヲ招ス

六時歸宅

(六正大)し夥傷死の畜人に近附でしと心中を市京東し來襲雨風暴大

283

日九十二月九

月八日 未巳次

九月三十日

火 乙

晴

暖室

72

三

土時五助製錢 金仕^ニ多^クアリ^ハ成^ル長^キ云^ハ梓^ノ
 匠^ノ愛^シ報^ヲ接^シ午^ノ後^ニ重^ク柏^ノ氏^ト訂^ス合^セ金^ハ代^リ
 電^報始^メ了^ストイ

二昨羊毛利五郎男減錢北苗 錢道敷件、付本
訪目希貝書ヲ、コレ圓面ナシト送付セリ、季ノ如

五時歸宅 夜有妻笑令道 散不來久

天無

晴

暖寒

十時出

梅田芳松氏、雪根忠兵衛、麦久保益武氏、
防者久保ハ三合公司委託ノコト(百エーハ)ヲ
三万エーハ半撥成ノ件議シテリ 四日、宴会ニテ高
次スハキヲ招ス

六時歸宅

(六正大)し夥傷死の畜人に近附でしと心中を市京東し來襲雨風暴大

283

(元正大)す 戦 開 土 伊 (七三治明)す 正 改 を 令 兵 徵

282

己未 癸未 辛未 己未

天氣

晴

暖寒

1

+

時

七

三

五

久

五

金

叶

五

5

一

五

五

五

四

三

五

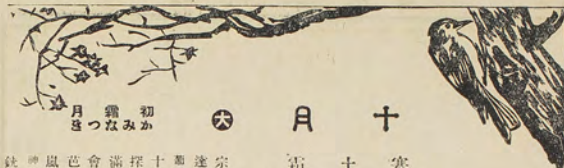
子

七

285

025 7

家のま



曉 高橋樹送人還。	溪 水々々心自問。	遙 見夕陽影垂處。	一 肩黃葉下秋山。	黃 軒
寒 露	九月 三日午後五時	九月 月經		
土 用	廿一日 四時後八時			
霜 降	廿四日 午後二時二分	九月 月經		
宗 難	二日	太皇太后幸中樂	十五	
達 摩	五日	神嘗祭	十七	
十 夜	十五日	聖一忌	十七	
拔 附	廿七日	べつたら忌	廿二	
會 月	廿九日	夷取	廿二	
式 日	九日	饗馬火祭	廿三	
芭 蕉	十三日	靖國神社祭	廿四	
神 宮	十四日	陸奥九月一日西	廿四	
風 雪	十五日	八世忌	廿五	
紅 葉	十五日	天皇紀節日	廿六	

式、法華宗の寺にては宗廟日蓮の靈を祀り會式供養を終る。○八月
日陰祭秋の名月、但上實陸の満月、翌九日なり。○十七日神嘗祭、伊勢
神宮新設の神祇を祀り、都上嘉祿殿の南にて御造形式あり。○十九日、
つなら、東都の俗にて都上嘉祿殿の南にて御造形式あり。○十九日、
商家にては蛸子神を祭る。知人を招待して酒宴を開く。○三十一日天子壽萬
日、祝酒を酌みて奉書無窮を祝ふ。○北海道地租開闢分・第二期酒稅稅
納入兒童に郊外散步を獎勵し體力増進を計る。

野分、芭蕉蕪、秋深し、衣袴、行く秋、初涼、初紅葉、新酒、
菊酒、秋萩、渡り鳥、啄木鳥、初鶉、掠鳥、山雀、鷹。

比日魚、方頭魚、秋刀魚、金魚、車鯉、芝鯉、烏賊、鰐、わらさ
鰯、鯢、牡蠣、貝類、大根、小燕、芥、甘藷、蕪結、松茸、八つ
頭、刺蓴、里芋、百合、柿、栗、櫛の實、銀杏、茱萸。

菊、草紅葉、珊瑚樹、チユベリス、ボウワウエア、コスモス、ア
リステア、アキランサス、ランタナ、ホルリス、ユツロ
サス、コステア、オキナ。

池上本門寺、堀内妙法寺、雄司谷鬼子神等會式、大府町町べ
つたら市、多摩秋夕、土浦印旗、四谷街道、浦賀附置、大
井丹、入谷、三河島、花屋敷等觀劇、道灌山、日暮里、飛鳥山、隅田
川口、嵯峨野等遊藝、牛祭、稻荷山車登。

菊合せ、燈下讀書○松、梅、櫻、連翹、百合、福壽草、チユリヤ
ン、アネモネ、トリス、ナランゲラス、アサギ等類。ハ
ナ、アサギ、油菜、菰、豆、豌豆、蘿蔔、牡丹、芍薬等根分。

十一時也、新田金三郎氏より中城ノ西郷侯處
 二万石、贈り、件社長ノ某藩より受り
 手合社社長ニテ親友西社長代日合元ノ模様ヲ
 あり、西社長ノ意未疎通、合致スル、其時長
 三時、親鐵合社、主事リ今朝上京シタル、長
 氏ト面談、話至リ、今人ノ意未決、一年間、長
 氏ノ意未決、同、其時、金三郎ノ在、分、長、其
 時、馬、夜、事、取、扱、テ、金、三、郎、ト、ス
 五時、親鐵合社、三、分、三、分、送、金、三、郎、合、元、自
 合主人より、別、所、ハ、親鐵合社、主事、及、分、業、係
 長、連、立、各、二、人、仙、者、雜、校、七、名、中、子、メ、殿
 川、萬、石、と、い、て、校、し、め、り、
 の、月、三、月、若、き、者、ハ、中、城、ノ、西、郷、侯、處

木
下

○ 二 月 十

己未 未 旧 人 月

天無

晴

暖寒

十竹子志

新井若金殿合ニテ 獲西莊田調盃、喫し日石主
田、赤虎スハ手ヲ要ス
千石社長、桐島、半白青木列席、竹金、甲上
ノ門ノ座ニ相成ス
四時半、銀錢、行キ五時終完

286

(二政安) 人萬拾貳者死震地大戶江 (五治明) 寸禁か買賣身人

日 八 月 庚 子

Θ ≡ Δ †

子戊

氣天

此

暖寒

十世古

内長久寛成、江ノ腰田園を、其同ノ子
自給回合ス
西幹、鐵道利方、千石株増ハ、社長ト同次、上第
話ス

287

(三正大)は獲捕を臺十三機行成し撃砲をブーソトニア軍獨

土 己

○ 四 月 十

己未年四月八日

氣天

三

暖寒	
----	--

十竹子書

五時奉因女合前山口、今午妻久候女來常
會、此山外、今村歌三女來合妻久候女合
等、冬二知八ヶノミ置敬下丁村歸市

288

大隈首相を捧呈す(大正五)

天

五

暖寒

朝十時廣德院飯手七時羊羹川橋太郎
六三年西惠竹青山(葉子春)歸金未亡人子自
七二訪子弟八

明日坂長全漢、訓示、又千事、又年、又甚、又案、又衣介、又降、又雨、又下、又降、又ん

罪日
寅庚

○ 五 月 十

己未年八月廿二日

(○四治明) 去藥局位一山中 (元中元) 才一統朝兩北南

289

己未 閏五 八 月

晴

暖寒

社會の今日

社會の中心

天氣
晴

07 寒

櫻井不守令の境
 振作の志教習と
 皆増攻守の英
 三行新編の八
 所

午前十一時出

相和侯頭茂後任、撰定カルル也、
廿二史劄記ニ令ス

社長ト梅田人格内題ニ付ハスルアリ

午後宜枯紙具書留好
製錢會社ノ主課

今大槓針譯長及大主而炭以ノ槓主

中條縣志卷之四

和心主少司氣美入存冬友書子見

五弄

夜分明日芳節全改視察爲人改美又口干

長岡佐治(造形)及平沢幹(針業)外、此處

本
子
内
宅

石中炭

己未 閏五 八 月

晴

暖寒

社會の今日

社會の中心

天氣
晴

07 寒

櫻井不守令の境
 振作の志教習と
 皆増攻守の英
 三行新編の八
 所

午前十一時出

相和侯頭茂後任、撰定カルル也、
廿五年丙戌ノ命ス

社長ト梅田人格内題ニ付ハスルアリ

午後宜枯紙具書留好
製錢會社ノ主課

今大槓針譯長及大主而炭以ノ槓主

[illegible]

和心主少司氣美入存冬友書子見

五弄

夜分明日芳御會議視察爲人改差又口干

長岡佐治(造形)及平沢幹(針葉)外、此處

本
子
内
宅

石中炭

氣大

晴

暖寒

記

午前十時五十分、東京府庁、常務駐米大使
ノ会合、通見、見
因村、赤木、平、河、云、雨、リ、棉、ル
夜、合、余、田、牙、太、郎、云、石、干、国、基、石、

氣大

雨

暖寒

記

十時半、火、物
会、在、組、横、濱、云、在、此、ニ、リ、限、漢、ヲ、支、ス
若、松、桑、港、市、田、所、有、殊、賣、即、ハ、ス、ル、在、此、ト、限、漢
ノ、結、果、ハ、十、分、合、社、ノ、買、入、ノ、必、要、キ、ヲ、ト、他、ノ、主、ニ、ル
珠、子、社、ノ、分、機、買、入、ハ、亦、加、ス、ル、云、云、何、ヲ、牙、所、
報、告、シ、併、セ、テ、梅、田、ノ、件、ヲ、内、報、ス、全、時、報、表、代、表、
云、云、茲、ニ、夫、業、店、店、ノ、業、務、ヲ、得、タ、リ
上、京、中、ノ、場、外、長、ノ、為、メ、大、學、校、夜、連、入、手、印
二、村、大、學、校、夜、間、工、夜、校、校、取、来、此、ノ、門、校、表、
ヲ、日、本、橋、便、品、部、ノ、指、行、シ、タ、ル、ハ、此、時、ヨ、リ、其、云、
云、ハ、十、時、半、ヲ、充
昨、ハ、又、店、工、部、部、代、表、ニ、リ、東、金、銀、優、先、殊、百、珠
牙、部、代、表、六、十、圓、ヤ、部、子、ニ、支、取、リ、シ、テ、青、木、氏
方、印、子、者、ノ、手、印、ス

氣天

晴

暖雲

風

注

雲

雨

雪

霜

雹

霧

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

霰

霙

露

霜

雪

風天

晴

暖寒



十時半迄初五金本ラス更、監部会社、依後
し電話又ハ電報ヲ以テ上京ヲ促ス事トス
午後三時五十分壽美、今道廿箱板、赴ク
ハ時迄、推測ヲ著余、次ハ城ヲ見、岸、向
ミテ落日、雲ヲ降テ、出、金線ヲ畫シ、顔色
曳イテ、雲ヲ色トシ、観云フ可ク、ラス余、初メ、天
見ス、知リ
着後、燭ヲトリテ庭園ヲ巡視ス、植樹、新
落成、所リ、面目ヲ新ス、十二時、就床
長南軒

風天

晴

暖寒

風 雲

風 雲

風 雲

監部会社、余、六、五、五、余、二十、二、日、ナ、リ、テ、ハ
云、京、出、本、准、ヤ、ル、也、電、報、ヲ、タ、ル、電、報、テ
初、課、シ、未、リ、タ、リ、以、テ、其、理、由、ヲ、主、余、ハ、電
報、ス
午後、六、時、リ、モ、主、余、来、ラ、ル、以、テ、更、ハ、明、朝、迄
ノ、云、京、ヲ、催、シ、タ、ル、電、報、ヲ、リ
余、ハ、ヨ、リ、主、部、リ、ナ、リ、廿、日、上、京、ス、リ、ト、主、余、ヲ
本、電、ア、リ、タ、ル、ハ、ソ、ト、テ、更、ハ、ト、電、報、シ、タ、ル、本
電、ヲ、リ
午後、壽、美、ト、共、ハ、小、福、善、ノ、殿、ト、来、ス
植、木、屋、二、人、云、ル、(万、人、柱、来、リ、)ト、共、ハ、子、母、の、山、ニ、テ、ハ
多、ク、ア、セ、ボ、ト、ヲ、タ、リ、ツ、レ、畢、リ、取、リ、来、リ、シ、レ
ヨ、少、植、シ、タ、リ

無所後云

暖寒	暖寒
----	----

十時羊玄初

十時重役列席 園村式司 南樺太 雁香、南

任名可降来ノ方斜ニ付テアリ

朝鮮館饌中才知り

其二三、對入商會之必要アリ

時三
分山口
未即
起昔
未與
子決
定不
其客

三十四 極越ハ合ハ計ハ行ハ加ハ十ハ五ハ所ハ也

帝和文公冊臣等
佩介并面會至誠附進

錢山の申込アリ若木澤の使令ハ早見

丁巳年

三教金經

卷之十一

天
氣
雨

暖寒

朝十時辛玄勒金次東名驛、主吏リ仰リ申

越ノ希石住ニ地大泉ミリ賣入ノ廉シ大ノ主石味

丁亥重刊（年於三月五日係年六十一）

買入ル事ハヨロシキモ
該地ハ地上確設定

ニアル者也如ハ直改ヤキ云ナリ其令

ニハ変付アリタシ

製鐵金仕世執東松松平直平子丹朝鮮

些書鈔道金竹內谷方不田付外田好天素

任上原、秋、冬、春、夏、
長し惟り、是、梅、
花、冬、人、冬、

外々各處電ス

皇朝金鑑卷之五十五

卷之五

時 財方朝告会外ニ時ヨリ炭坑ノ豫赤ヲ

九轉回生

晴

暖

今日ハ九州若船ハ此ノ為内ハ旅装ヲ
取遣メ居リ

庭ノ錦木ハ并座席ニ色ツケヲ受テ

我座ハ楓モエタリ津子ヤリツ

ミツキ木ハひとり秋ニ色トス

飯田多ニハ病茂ニテ死ニ近ハ旅装ヲ
今更ニ次々成方ニタリト人々手ヲ
行

大月ニハ二被催觀艦参列ハ今更ニ行ハ
海軍大臣、斯リタリ未ル三十一日外宮大臣
夜公母本日斯リヤカスル

七時余ノ改事ニ下

秋の白

秋の白

晴

暖

京都ニリ而横濱ニリニ神人ハ着スハ晴し
レリ而座ハ在林道ニ未訪ヨリ四時頃乙
高ク日影ヲ立テ秋東ニリ甚茂夜ニ至ル

山脚ニ至リ秋

稻作ノ用ニ至リテ方ハ紅

俗迄

松ノからまゝ鬼ツタニ秋ニ花ナキ

色ニ至リ

晴

暖

27

七五 五五

三

(六和明) す 殺 潤 眞 茂 加 315

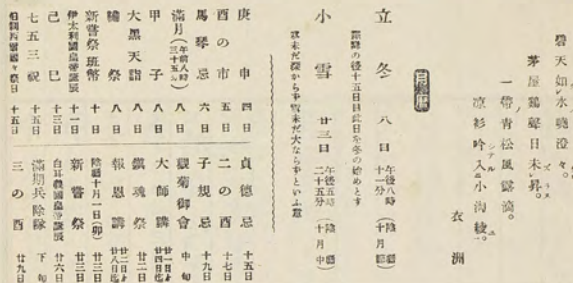
27

七五 五五

三

(三二治明) ふ 給 し 降 を 語 勸 育 教

(三二治明) 施實法成構所判裁 (一一長慶)す寂人上食木



擧ぎ込む意を以て人々を誘ふ○八日甲子、此月甲子の日を以て大黒天を
祀る。神を以て大黒根など呼ぶを祭りに怠りて、鬼氣を拂ふ。又此日蒲
餅、饅頭を食ふ。諸君は餅を食ひて蜜柑を撒く○五日乙未、三
三の祝、三歳の女兒慶賀、五歳の男兒持斎、七歳の女兒常樂の祝ひをな
す○下月朔日の除穢(ト)田租第二期、所得税第二期、營業税第二期分
等納入○蒲餅、端良の陰曆(ト)田租第三期、起り易き疾病の注意。冷水摩擦
を行ふて寒氣の低伏力を衰はしむ。

獨活、蜜柑、金柑、九年母、文旦、橘、
かながしら、魴鰯、伊奈太、鰯、鱒、眼張、鰻、鱈、目鯛、枕
鯛、いしもち、蛤、大根、漬菜、白菜、玉葱、山東菜、馬鈴薯、

花信
紅葉、冬葵、復花、殘菊、山茶、冬薔薇、冬椿、梅、梅、
コルチカム、クロツカス、カロスデマ、ルデウム。

外國
麴町山王、淺草三社、神田明神、湯島天神、深川八幡、赤坂水川等七五三祭り。各所西の市、瀧野川、海晏寺、護國寺、芝公園、

上野公園、井の頭、國府臺、高尾、妙義、碓氷、日光、鹽原、御嶽、箱根、若王子、清水寺、永觀堂、嵐山、貴船、安藝嚴島等紅葉狩。

歌、俳諧、香曲會其他總會○花卉類の剪定。應國、山吹等摘替
萬兩、芍藥、金雀花、夾竹桃、樺等手入れ。セロリ、枇杷、楊
梅等施肥。球根類の乾燥貯藏、又病蟲害の防除を行ふ。

晴

暖

朝有吉き事ヲ訪聞セシトシ自宅向合セタテ早
朝ミリ京都出張トシテ至テ麻島市長ヲ電
話シテ今夕夜壇ノ小宴ヲ振リ

午後五時ヨリ花壇、赤キ新築刑、服部一三キ
并麻島市長、村野山人、三吉ト合會ス。三吉
ヨリハテ部派行、三木道俊、三村金庫、中吉
る事、栗田昭徳、山必秀会ス。服部成ヲ歌少
ノ近又ラ少キ十一時半終結ス
午後松原定ニ助力ニテ書簡書ク觀ル

晴

暖

朝十時神ノ驛ニ参リ、汽車ニシテ高砂ハ向ツカ右
川ニテ出立ヲ妻ケ自伝車ニシテ十一時半終結ス
右午餐後工場并、新井ノ精工社在地方ニ視
し、近ク成知シタル我實、向上ヲ賞讃シ四時小
邸増入リ、百山以上ノ知算三十五名ヲ招キ晩
餐食ヲ共ニシ十時三十分カ右川参リ、汽車ニシテ
神ノ驛入リ下レハ雨降リ来ル也夜歸リタルハ
十二時半ヨリ帰ヤタリ

天氣
重後晴
寒暖

暖寒

北朝小坂館山より主君
成豊元神虎子未福
和公

朝八時東京驛着一所滞在十時半出社
會社ノ重役會、出席引余川、係ル水方電
氣工段ノ件、有吉知事、之ヲ見テ報告ス
ト終、田中製紙ヲ告、高砂川用水路ノ案、有
吉兵庫縣知事、個ノ意見トシテ高砂町ニ參加
斷決ヲ得タルヲ通知シ置、

午後二時製鐵會社ヲ賀田金三郎氏ト會合
西條錢道親役、重役トシ社長、松平直平ト
爲、賀田直治、西島新太郎、在京奈起人
ニ決定スル者、自分々々ハ、松平氏、奈起ス
婦余、再び針葉會社ニ入リ、三吾氏ノ勸メヲ
受テ、高島以外炭坑ノ事業費ヲ決定ス

五時半帰宅、夜有小無行列、杖舂爪ヲ復、出
來テテ衣履ス

天無
晴日

暖寒

十時半、社會資合社職制、件々社長ト合議ス
寺内伯等、か及んと、臥成亡父ノ会葬并ハ代理ヲ
頼ミタリ
二時半、我知一行十四時退出、歸途三田郷ノ
中島清室（赤澤義船宣後）ノ死ヲ平ス（合葬定メ番
屋間ヲ借ル）
此朝久松ト平生、金太市氏學校建築、事々
大工（相澤、主トテ）聖祐シテ施ス

月 實

Θ + Δ - +

己未年八月九日

自當 變

電 報

天
氣
所
使
也
寒

11

30

午後十時半、伊東直、土社今晚、国奔驛、午前
三時半、急安、股率、倒れ、見、力、東行、
列事、来り、座、断り、急行、終業、入京、
直、土社々、長病、急、初、

326

(四正大) るらせさげ舉を禮大の位卽御て於に殿宸紫皇天

五卷六冊

四九五四

天氣

五

暖寒

三

Θ - † Δ - †

己未 臘九 月九

大曜
卯丁

噤 雙

自當 設

辛酉十月廿二日
社
青木子社長ノ意ヲ受ケ
会社組織改正ノ件
ニ見テマツル事ヲ
依ルセラル
五時退去
夜介小木植氏本訪妻等（雜誌）掲載ノ為
社所振興ニ付意見ヲ口授ス今欠座度アリ
了ル

(四正大) るらせば行を樂神御所暨め定を使幣奉

327

己未年閏九月
二十日

天氣
雨
寒暖

此日亦竹三話より有
終念より最端後律任より
百持社長より返事せり
ト云

115

朝十竹と、勸川係に坐、氏料並重役廿俵、
送すはたまり得たり之を廿日又攻めし成ノ青木
也、此ノ河川係、付てせふルトス

本日給料八百匁、増信、少依テリ

早川水電ノ社長窪田四郎、常務赤田五郎人等續
取作、毛利五郎男、前田、山中、ヲ夕五時半ニ
リ別へ、招行シ三言三式令社員席ニ就任ナ
候ヌ、夫列席、室極、我見而者、船田保方
保方九時撤席、始云

午前十船重役会々アリ共番製知参百万
円ナールンジン七百円ハ州制なり、是れ却世未幾千
万円ヨリス、新川美介事社

午後銀錢堂役会、

334

(四正大) す議を題問那支き開を議閣時臨て於に都京

田舎の今

社會の今日

天氣
晴

細川長遠收五百圓
借與了方何意謀
得たり

118

朝ミミシ天ノ清調トナレリ今朝廿一日午後
 赤坂東宮ノ如ク護ノミトナレリ召サルノ旨文内
 大目ヨリノ案ヨリ接ス度ハ艱難ナキナ
 上勅金次大牛門前ノ堀ノ自前車ノ障
 目スル
 午後路方部ヲ召請太夫ノ至リテ寄附金ノ事ヲ
 相談ス
 神ノ坪田十郎氏本社貸金倉敷ノ名ヲ傳フ
 ヤロト社長本田茂方氏本社訪
 大所者多勢次女ノ紹介ヲハ學生共ニ
 社ノ事ノ余田氏ノ自合ス
 此時智我ノ主アリ武田氏長令長
 後半ノ金次五時終ニ
 智銭保

335

(四正大) るらせらあ幸行に勢伊め爲の調親御宮神

Θ - + = Δ - +

暖寒

手前大將芋太社針葉會社、重役合、以ハ
狂見常務本年一月改改少孤遺ノ幸ヲ社
長ト以テ其内ニ今人ト傳フ

午後四時製鐵會社

五時服部漸（參叙知板並）于板待（元△）

皇役、銀錢上ノ支度見ルベキ事並ニ交支ノ様式ハ

25

此日故無川平共安夜射ノ為人崇本而習
三ツ金平座ヲ西福人平島部似や湯及板金主貴
也云々

隱 發

王德全

天氣
雲
雨
寒暖

和歌山縣（和歌山） 和歌山

大石寺より下る

たみあき

心はよくあり

之

八五 五五

信·變

全削十時出社正午迄ハ曇リタレモテ終ニ雨ニ
小而降りタルヤリ今日觀ミ米ハ實カハ中止ノ苦トモ臨
ミ氣ヲ觀ハ差許サシム以テ一時ナリ手田共相前
後ニ未定ニ行ク由クマナク屋内ヲ散策し園内ノ
瓜菜ヲ食ス枇杷ノ葉ハ池邊ニ茂ル瓜菜急ニ
成ニ進シ菊ハ咲キ菊畑ニ土木ガ目ノ残
アリモノ、紅木ミ七十斗テ花ヲ开セ白ハ六百
四十、黄ハ五百九十金、ギヤノ木ミ紅黃白ノサカ
チ手煉收メクシハ五斗ノ積盛ハベルサイノ父校ハ
似タリ一枚ノ銀葉ハ四斗ノ母ト最モ午後三時
午後五時寿美全乗大島辰二ト貝島登夫
等前庭ニ談話致シ夕暮ニ其地精養軒ハ收
入媒介ハ小橋田次女天婦座次田旭乘賓ハ行
ハ妙ス九時半歸上七而シトトナル

(五正大) 御崩フセヨ・スナラフ帝皇國境 (四正大) 謁見御宮内

337

己未年八月九日

暖寒

手前大將芋太社針葉會社、重役合、以ハ
狂見常務本年一月改改少孤遺ノ幸ヲ社
長ト以テ其内ニ今人ト傳フ

午後四時製鐵會社

五時服部漸（參叙知板並）于板待（元△）

皇役、銀錢上ノ不足見カメテ、並ニ交支ヲ濫セリ

25

此日故無川平共安夜射ノ為人崇本而習
三ツ金平座ヲ西福人平島部似や湯及板金主貴
也云々

隱 發

王德全

天氣
雲
雨
寒暖

和歌山縣（和歌山） 和歌山縣（和歌山）

大石寺より下る

たみあき

心はよくあり

之

八五 五五

信·變

全削十時出社 正午迄ハ曇リタレモ午參時ノ頃ニリ
 小雨降りタタリ 午日 觀ミ米ハ實カハ中止ノ苦トモ臨
 ミテ、米觀ハ差許サレリ以テ一時ナリ 午日 氏ト相前
 後ニテ米實ハ時ノ句ニクマナリ 屋內ナリ 飯米ノ周內ノ
 川原ナリタタリ 柳花ナリ 池田ノ水ノ急ナリ
 及ニ進ミ 菊ハ咲キ 菊ハ咲キ 米ハ中ニ目ノ次
 トリタタリ 米ハ中ニ目ノ次 トリタタリ 米ハ中ニ目ノ次
 午十二、黄ハ五百九十金、ギヤノ米ハ紅黄白ノサカ
 セテ殊收メナリ 午三時ノ積込ハベルサイノ父校ハ
 似タリ 一枚ノ銀ナリ 午四時ノ時ト云キ午後三時
 午後五時 寿美全業 大島辰二郎ト貝島登吉
 米實ハ中ニ目ノ次 トリタタリ 米ハ中ニ目ノ次
 午六時ハ小橋田ノ父ト 床次田ノ相乘實ハ中
 午七時ハ小橋田ノ父ト 床次田ノ相乘實ハ中

(五正大) 御崩フセヨ・スナラフ帝皇國境 (四正大) 謁見御宮内

337

晴

寒

午前十一時常盤金谷社
午後一時針葉金谷社
午後二時見川中川工場
附近地如常入、事、田、桑、木、相、接、不
五時停電

晴

晴

寒

朝十一時半松田夏治郎氏並三浦赴任
午後二時半植氏平訪社風興(午下)
午後三時半

己未年十月十日

陰 變

暖寒

读

12

十時半去初午後製錢知令仕
所職立二帝本平防

四時羊辰去金田中、熟干斤、十時祥宅

342

(八三治明) 丁行執左祭年十五翁德尊宮二

茶室の全日

社會の今日

新天

晴

暖寒

讀

216

十時出物
新葉金社月次童叟會、
金美

中白仁智錢在來訪象白雲山錢釘貫入

件、件依覆了、天方地立弄、山行、ト云フモ訓ハ、銭知ハ、四

市下(三三三) 全時禱奉 針石交樹 奉并大

卷之五

可，這變果會不又不可。

九歲壯長各皆掌一節本方內次頭心武保

合テ時々スリヤ内戰ヲモクラス

豐饒齊年松田夏治郎氏昨夕並二甫所長上

三子任

(五正大) ふ賜を宴饗の禮子太立に名餘千僊臣外内

343

氣穴

雨

暖寒

十時半止社

香明寺

一時半鐘、鐵合社、香明寺、末木ト面談し
金地大空面談、以ノ模様并、父田直治成コリ、傳、るヲ
シ

父田金三郎、來訪、西群鐵道、重役、牛松手直平
千社、外任、不許可、場合、カ、ル、キ、合、セ、ラ、ス

九時帰宅

夜分、原田、才、太郎、本、訪、回、答

禮全
中中

氣穴

雨

暖寒

十時半止社

石坪英弁、公、リ、西群鐵道、重役、撰任、關、る、書、面、ヲ
支、取、ル、在、群、松、手、直、平、ヲ、重、報、未、ル、返、答、ス

午後一時、九、炭、ノ、採、合、進、ク、井、内、中、部、凡、ク、皮、肉、ト、

重、報、鐵、道、重、役、ヲ、重、報、未、ル、返、答、ス

重、報、鐵、道、重、役、ヲ、重、報、未、ル、返、答、ス

重、報、鐵、道、重、役、ヲ、重、報、未、ル、返、答、ス

重、報、鐵、道、重、役、ヲ、重、報、未、ル、返、答、ス

重、報、鐵、道、重、役、ヲ、重、報、未、ル、返、答、ス

重、報、鐵、道、重、役、ヲ、重、報、未、ル、返、答、ス

重、報、鐵、道、重、役、ヲ、重、報、未、ル、返、答、ス

重、報、鐵、道、重、役、ヲ、重、報、未、ル、返、答、ス

重、報、鐵、道、重、役、ヲ、重、報、未、ル、返、答、ス

重、報、鐵、道、重、役、ヲ、重、報、未、ル、返、答、ス

重、報、鐵、道、重、役、ヲ、重、報、未、ル、返、答、ス

重、報、鐵、道、重、役、ヲ、重、報、未、ル、返、答、ス

重、報、鐵、道、重、役、ヲ、重、報、未、ル、返、答、ス

重、報、鐵、道、重、役、ヲ、重、報、未、ル、返、答、ス

重、報、鐵、道、重、役、ヲ、重、報、未、ル、返、答、ス

月
丁亥

十月二日

天
晴
寒

此日午後毒美祝物
持不中川王席、添入
飯口訪不在六條遊乞
行内二小成三リ草草傳在
是土喜^ハ十六遊生一版在否
又云^ハ三河川^ハ不^ハ

朝十竹羊製錢合社、本勘十一時羊釘業合社
 之、向ノ貝島不市峠止青雨成本社今夕婦跪
 由ニナリ

一昨日九座候より様様う社長へ報告せし併せて素木
栄造氏より身より申し社長ト談合スル処アリ

業松、西島某私設（辨内）錢道補給ノ件、片
陳情書呈出、爲西縣錢道至吾人ト云々令
洞印ヲ求ム之、洞印ス他ノ人ハ公田金三兩付
陳情書ニシテハ返テ送り越ス云

一時馬場八郎公本江郎田一雄氏より千金にたり
中々珍奇怪異と其の異にナカレ

山秋佐（書）朝鮮ヨリ為_レ並ニ補ノ撥牒ヲメキ
夕奉_二三島（一）之ク頃ハレテ太市ノ引合セム

五時 居士 經 金 車 部 氏 子 之 女 子 信 理 臣 臣
ノ 目 記 只 是 命 子 午 辰 子

348

(三正大) 表發の員職制官輯編紀皇天治明

宋 己未

$$\theta = \Delta = \pi$$

天氣
晴
寒暖

子奈翁山要入佳殿
一、肉生野翁山
長上亦打合七日
五時半返去

今日ハ余五十九
生日ナリ 赤飯ヲ
祝

二五ノ十ナカへて
大なるなりた
うの甚き心也を
ぞする

朝十時羊出第

十一時 西原氏平六三リ 洋行牛知成今一部ヲ

社より合社に改む。其ノ最後ノ定款ハ少
ク余ハ懷理キタルモノナリ。改ムハ未ダ年

一月ヨリ実施、折念入
八五五店次

製成混合、为上等之工、環状、深八、二国、
入江、ヲ田余、川、平、三、順、切、又、工

一時、此亡_レ主役ヨリ内仕、一城王堀役、二主役、三役

上海工部局所訂工部局及地先埋立地賣
件、件相添子賣

西辭人前道室役舟石坏依教卜電話う交商
山本江表一文字、吏不其旨朝辭梅節

久松田直佐氏と逢坂入（電信）

(五一同)むし佩を劔に査巡 (九治明)む定を制の章綬大花菊位勳大

349

晴

晴

晴

朝十時青山墓地にて花井川村道え師室
 へ参りて参列ス会葬ハ此等ハ陸軍大牛
 川等海軍ハ島村大佐等ハ海相ハ二人ハ系
 首相ハ顔ハ見ヘタリ終全朝参列は暫ク
 止ル水野錬太郎侯爵等訪ヒ銀銭
 金仕出社
 午時中興亭に催シテ河村駿次郎外ハ
 ハ秋生吉成ハ退社ハ送別會ハ此ニ一場
 ヲシ針葉會社ハカヘリテ大山氏ト報紙役員
 共ニ参リ額ヲ付合セ第何ハ亦在丰知ニ
 限後其羊川ヲ得次ニ會社裁判變更ハ申シ
 二時向斗ニ見テ交禮シ四時参列直ニ
 本直ニテ六時内務省ハ参列ハ亦在豊知ニ
 参リ内務省ハ参列ニツカ教ハ参列ハ亦在豊知ニ
 シカワサヲ得タ時羊蹄也

晴

晴

晴

朝十時羊土勤労組合会社参列田原氏ハ
 高村保造ハ参列ハ二時ニ場長ハ入江氏ハ
 任人ハ大々年未當無ヲ成ス
 午時針山百萬円以内ハ買入ノ事ヲ社長ト
 立シ田原氏針山氏ハ買入ハ一決判ハ看ナシ
 参列者ハ大々年未當無ヲ成ス
 在軍人基全トテ全郡ハ別荘知有者トテ
 子ノ者ナリ者ハ大々年未當無ヲ成ス
 三升ハ部ハ全郡ハ五五百円ハ金ナリ
 永強ハ別荘知有者ハ買入ノ事ヲ社長ト
 製紙会社ハ堂役ニ場長ヲ田中氏ハ
 田中氏ハ堂役ニ場長ヲ田中氏ハ
 高村保造ハ参列ハ初段ハ参列ハ
 高村保造ハ参列ハ初段ハ参列ハ

無天

晴

晴

晴

十二時止

午後二時市庭事所如三田余高松下打揃
 相談ヨコラシ上海工場地先買入ノ相談ノ時
 夕ヨキ市庭買入見合ノ事ノ決マ
 午後三時製鐵公社ノ行キ三田川松手代ト
 面談ノ結果ヨリ公社ヲ監査役ノ代リノ取締役
 タラシト事ノ付又田金三ノ代ヲ松手石塚政哉
 ノ意見ヲカカムト事トス
 六時歸宅 帰ハ田田政哉ヲ帰ニ榮和君
 見ヘラタリ政哉君ヲ云々
 壽美北午後井上廣安村主人一行ト共、新島
 五ノ様觀シタリ

卯辛

無天

雨

雨

雨

十二時止

午後空ノ青木代ト昇半新原地如カル評
 候ノ云々
 今日上京ノ風田美咲長子ヨリ北澤本園事
 相ノ詳細ノ報告ヲタリ
 午後六時半三田金三知政夫代ノ招待ノヤシ
 盤屋ノ會席ノ終ニ九時歸宅

天 晴

暖 寒

午後二時ヨリ山王新川亭ノ田舎合ノ母リ
 途次赤坂ノ三村居手大ノ病氣ヲ見舞フベ
 食道邊ヨリ更期近キハ豫想スルモ尚方一
 僕等ヲ期スナリ見ユ嗣ナ社年式試動ヨリ
 昨日神朝ヤリト集ナリキ
 清風亭ニテお合ハ紅白ノ内紅ノ但勝余ハ
 實ニトシハニケテ二枚ヲ失ケタリハ時羊神
 宅
 今夕時羊田中婦ハ新泉高カ節必々春
 天寧車場見送ル

天 晴

暖 寒

暖 寒

時羊活動
 社中ヨリ此後改正ノ行ト打合済スル所ナリ
 自今更ニ江口磯原事々可キル所ハ桐島高年未
 足職スナリ若シキ
 不庭事知ル方主人ト可成知欲合社事
 斯ノ起者ハ其ハハ得合時全男合ヨリ組織
 改正ナリ及ニ件保テ自介親戚合社合
 糾任後ニ糾任役トシテ従来通自介代理
 タルキル年カサレタリ
 四時羊銀金合社ノ主アリ五時辰去金牛在
 司ニナリ近隣ノ元ナリ江ノ桐島及自介人
 一社得タル代キ、其ノ氣堂ノ頭ヨリ南
 花々原田三女太郎、九時羊神ル

晴
暖寒

陰 雲

朝十時半出勤

一時造船会社株主総会出席期利益面等共

此朝主君は私宅を来訪素石鑑時幸々相

談アリ幸人自世京老ニ判断決定せり

五時帰宅成夜食後幸由太郎氏ヲ訪問甚

大正

晴
暖寒

陰 雲

朝十一時出勤製鉄会社赴キ三石リト白仁

製鉄会社ト向テ交換スル行石交換で陳大隆

三時ヨリ外資省内東亞興業團ノ会入で山

林台皮垂比利亜夫林視多ヲ撰信及

五時半帝國ホテルに催サレ朝野銀行ナリ

百人盛会ナリ九時帰宅

無天

晴

暖

時

十一時五助
五時五助、後、田中、二、本社
大町ヨリ白石直迄、又、男、行、職、汗、年、相、談
下リ
小世国三、女、永、井、持、太、長、官、及、今、腰、欠、三、名
峰、林、一、持、持、陪、賓、者、ト、シ、五、時、ヨリ、全、知、ト、計、九
時、半、席、迄
此、日、初、雪、ナ、ラ、ト、降、ル

時
刻
の
目

無天

晴

暖

時

午後二時、大町、米、女、却、男、金、新、ラ、宿、居、閑、談、二
時、内、往、シ、テ、返、ト、跡、余、里、川、河、田、島、ノ、主、夫、リ、春
日、支、親、ノ、伴、報、知、居、(百、八、本、月)、異、春、ノ、當、徹、ト、雪、芝
(七、拾、四)、二、幅、ヲ、贈、ヒ、各、者、ノ、雪、月、花、ノ、三、幅、并、(百
九、拾、四)、ヲ、借、リ、居、ル

丑 辛

十月二十五

己未年閏十月
二十三日

天氣

而後雪

暖寒

漢

三

十一時と初余次一昨夜ノ枝取ヲテ小池銀行ニ至
テテリ國三氏、毎張兵番制表處知会社田藏、因シ
テテ公葬、其に合テ、王定見ヲ豫取ス
午後二時九歳童役合、列シ各齊前社長、在スル
朝野六黨國ヲ談次ス、語リカケ創設、録會社、
ニ至ル

(七一治明) 始 開 府 守 鎮 賀 須 橫

362

卷之四

氣天

晴

暖寒

陸

三

十一時

辛未特別賞與日又

仕女、対し造_ル如_ク材料、襖部設置、夏見

テホ
ズ

未成靜長呈上

五時辰

壽美水邪子川新九

(二三治明) す 始 開 を 務 事 替 爲 便 郵

363

午前	午後	天気
		晴
		暖寒
午前十時出動 針葉會社ノ宣役係合列シ 株主協會、呈出ス可キ利益を分与スル事 午後五時 妻久保氏招待ノ赤坂御座ノ宴会 ハ此九時半終ル		

午前		午後		天気	
				晴	
				暖寒	
				十時出動 午後能銀会社員等ノ松野ノ園スル祝会 ノ方ニ回動者ノ様ス 五時三十分	

氣天	暑	
	乙	
		暖寒

十時 古物 瓜初ノ主候アリ
午後五時三リ 善木ノ代ノ松待ニテ 毒攻三回候
三土 岩屋ノ本坊

天
氣
日
寒
暄

午後三時より外務省有内任東興業園幹
 事合、修席ス然る故有ヨリハ井上地質直
 見、山林局長佐藤弁政、長、吉田、
 西代説明、三井井上(澤三郎)中島(父方)下谷
 幸次郎
 五時半退(古金四年)宴合、赴于九時半始

● 项目
米丁

Θ - + = Α = +

月十日米已
口在出二

天氣
晴

暖寒

記

名古堂の竹橋工場設置、庫に付床久義
成り振致す、則ち時よりを以て、徳一取次社長
モ在場ヤリシ

八

午後二時、仲ノ達ハ也、表ヒアト、武自、金、年

月十式金杯スハリ音高レ

歸金 今并銀コリ金川 車、主アリ 合鴨

又云懷子黃懷八胎并婦亡

天氣
晴

暖寒

壯美の告白

田舎の風景

十月二十

月一十日米

厚月
中戊

天氣
晴

暖寒

記

十一時出北

江田俊馬氏より書す

及平川小變破者全大

取福三三三

同前

極其不近

卷之五

1802-1812

發
不
見

03

要

185

卷之四

血丹

己未年十一月一日

天氣
喘

暖寒

瓜和之川赤半

朝三答二氏カレシトノ談判ノ模倣報告

一、吳王

(元治元) 武田 耕雲 齋 降る

371

火 已

天
晴

暖寒

文日来爪ナツアリタルモアリタルモ六六ナキメ

唐テ出物ヤシモ今朝亦少ナリ歎異ル川新

りか養良

スタヘーグカーレン・ストロム判ハル日天定

せしより三井、奥村、西谷、依賴し、船錢金に

語会ハニモ同クイハス

田中全一 召キハ面キタルハ氣云者ト云キ人ハ金百

月持心重ハス

姜山金月氏、隋振武在工部學

子以

卷之七

(八一治明) く置を臣大省各び及臣大理總め定を制の閣内でめ始

370

大元

主目

暖寒

日

大元

主目

暖寒

日

引ハリ加義ス

藤田正輔本訪

新川美介本訪

田島きと物(戦果内所書五鋪)春日支規

美作勢知治一隔吳春華キミ石一隔各

齊華ホ余必紀替ス正月九二隔石ノ代金

合計四百四拾圓ヲ支払フ

竹村益雄高保一件ノ付北村太吉ト五事ヨリ

松本健次郎ヤ、若松某處金田木村金大株主

ヨリ支ノ事トナバ田味を株申越ノ近ハ松本

具サテ十株ヨリ支ノ事トナバ田味を株申越ノ近ハ松本

原否ヲ問合ス

大元

主目

暖寒

日

大元

主目

暖寒

日

昨夜半近及淑子留子ヲ去壽美午後

改美ノ事

井上達五ノ身上ノ付久原ノ事ハ不平ヲ祈ヘ

丁中ノ事トナバ田味を株申越ノ近ハ松本

十時半ノ事

是時半ヨリ内村保親金全社ノ債シ並銀室

役会ノ列スナ後三時半ニ至ル

台廣銀行ヨリ預金利十ヲ支取ル

五時返金貯金 潤發

美介ノコソレ

美介ノ母太を岸所掛ノ具止方(奥村某ハ三

小集)ヲ申込ス

